2019 年 1 月 11 日

APIR Trend Watch No. 51

「訪日外国人消費動向調査」個票データ分析から得られる関西インバウンド戦略へのインプリケーション(2)-訪日外国人の移動パターン-[1]

APIR 数量分析センター長　稲田 義久
主席研究員　松林 洋一
インターン生　野村 亮輔

要旨

本稿では、『訪日外国人消費動向調査』の個票データの観察に基づき、訪日外国人の移動パターンについて得られる特徴を整理、検討し、関西インバウンド戦略に向けての含意(インプリケーション)を導出する。今回の報告では、特に訪日外国人の滞在日数と移動パターンについて詳細(国籍別)に検討する。

観察結果より、(1)アジア地域からの観光・レジャー目的での滞在日数は概ね 1 週間以内である一方で、欧米からの観光客は滞在日数が 10 日以上の長期型となっている。(2)ビジネス目的での訪日外国人の滞在日数はアジア、欧米にかかわらず、長期研修目的を除けば概ね 4 泊 5 日以下の短期滞在型が主流である。(3)注目すべきはインバウンド需要が本格化する 2015 年から足元の移動パターンは、観光・レジャー目的のみならずビジネス目的においても広域化しており、入国先が関西であったとしても、その後の移動先はほぼ全国に広がっていることが確認できた。

インバウンド需要が関西経済を拓く新たな原動力と捉えるならば、こうした現象・傾向はインバウンド産業戦略を考える上での重要な点であり、検討すべき課題と言える。この分析をもとに、今後は関西から入国した後の訪日外国人の移動パターンを、個別地域に特化してより詳細に観察することが可能となろう。また、ミクロデータを用いてインバウンド需要の決定要因について定量的に分析することが可能である。

[1] 本分析は国土交通省近畿運輸局との共同研究の一成果である。記して感謝する。なお本分析は執筆者の見解に基づき作成されたものである。

1．はじめに

筆者達は国土交通省近畿運輸局との共同研究により、『訪日外国人消費動向調査』の個票データに基づく一連の分析を行ってきた。共同研究の目的は、個票データの研究から関西経済の成長牽引産業[2]であるインバウンド産業の発展戦略に向けての含意の導出をすることにある。

関西経済の成長戦略を議論する場合、「2 つの輸出」の視点が欠かせないとわれわれは考えている。第 1 は、中国を中心とする対アジアへの「財の輸出」の急増が関西経済を支えている。第 2 に、2015 年以降のインバウンド需要(「サービスの輸出」)の急拡大が、「財の輸出」とともに関西経済の成長を牽引してきている。この観点から、インバウンド産業の重要性に注目してきた。分析方法としては、データの利用可能性の拡大を踏まえ、マクロ分析[3]からミクロ分析にわたる包括的なものとなっている。後者の中心的な役割を果たすのが『訪日外国人消費動向調査』の個票データ分析である。最終的にはこれらを用いたミクロ計量分析から具体的な政策含意の導出を意図している。ただ、個票データは膨大な情報量を含むため、最終目的に至るまでの基礎的な作業が必須である。そこでまず、入出港の視点から訪日外国人の移動動態を分析した(稲田・松林・木下(2018)参照)。この分析においては、以下の点が明らかになった。(1)アジア地域からの観光・レジャー目的での訪日に関しては、関西国際空港(以下、関空)を利用するケースは依然として多い。(2)また欧州からの同目的の関西国際空港の利用者数はアジア地域に比すれば数は多くはないが安定している。(3)なお近年は九州圏空港の利用が無視できない動きとなりつつある。(4)ビジネス目的では成田国際空港、東京国際空港(以下、成田空港、羽田空港)を利用した関東圏への集中が圧倒的であり、関西にとっても挑戦すべき課題である。観光・レジャー目的におけるアジア地域からの需要の着実な取り込みが関西圏において不可欠であるといえる。

個票データに基づく今回の分析は、訪日外国人の移動パターン動態を明らかにすることを目的としている。2015 年第 1 四半期から 17 年第 4 四半期の個票データから得られる情報を以下の手順で整理する。まず、(1)観光・レジャー、ビジネス目的別に国籍別に訪日滞在日数に注目し、その最頻滞在日数を確認する。次に、(2)個票データを最頻滞在日数データに限定し、国籍別に滞在地の移動パターンを分析する。本稿では、入港地を観光・レジャー目的については関空に限定し、関空から入港した訪日外国人がどのような移動パターンをたどるかを訪問地コードによりながら時系列的に分析する。ビジネス目的についてはサンプル数を確保するため、入港地を成田空港、羽田空港に広げて分析する。今回の分析により、訪日外国人の訪日日数の変化、具体的な訪問地移動パターンが国籍別にわかる。サンプル調査という制約もあるが、各自治体が具体的な戦略を立てる場合に、重

[2] 成長牽引産業とは国または地域の経済成長を牽引する産業のことである。具体的には、(1)成長が見込めること、(2)市場規模が大きいこと、(3)高い競争力(ブランド力)を有すること、以上の三つの条件を満たす産業と定義する。

[3] インバウンドのマクロ分析については稲田・下田(2017)、稲田・下田(2018)を参照。

要な情報を与えてくれるといえよう。本分析に加えて、訪問地と支出額をリンクすればさらに政策的な重要性は増すといえよう。

分析に移行する前に、観光データの位置づけについて整理しておこう。本稿で使用している『訪日外国人消費動向調査』以外に代表的な観光オープンデータとしては以下のようなものがある(図表1-0)。これらのデータには利用可能対象地域や集計頻度などにそれぞれ特徴があり、相互に補完的である。分析の目的に応じて活用されるべきものである。なかでも、RESAS のうちモバイル空間統計の活用やクレジットカードによる消費分析などは、いわゆるビッグデータの活用例といえよう。

図表 1-0 代表的な観光オープンデータ

統計名	官公省庁名	集計頻度
訪日外国人消費動向調査	観光庁	年次/四半期
訪日外客数の動向	JNTO(日本政府観光局)	年次/月次
出入国管理統計	法務省	年次/月次
FF-DATA	国土交通省	年次
モバイル空間統計	RESAS	月次
VISA クレジットカードデータ	RESAS	月次
宿泊旅行統計調査	観光庁	年次/月次
旅行観光消費動向調査	観光庁	年次/四半期

2．訪日外国人の移動パターンの分析

調査統計の説明

本稿で主に使用するデータは、国土交通省観光庁が実施している『訪日外国人消費動向調査』の集計前の個票データである。本調査の目的は、訪日外国人客の消費実態等を把握し、観光行政の基礎資料とすることであり、その概要は以下のようである[4]。まず、(1)調査対象者は、トランジット、乗員、１年以上の滞在者等を除く日本を出国する訪日外国人客である。(2)調査標本数については、四半期毎に総数 7,830 サンプルを目標に調査が実施(年間 31,320 サンプル)されている。標本が全体の属性を適切に代表できるように工夫して調査は行われている。(3)回答内容については、回答者の基礎属性(国籍、性別、年齢等)、訪日目的、消費額などである。また、調査手法は調査員による聞き取り調査である。なお調査実施場所(出国港)については、新千歳空港、函館空港、仙台空港、新潟空港、羽田空港、成田空港、小松空港、富士山静岡空港、中部国際空港、関空、広島空港、高松空港、福岡空港、鹿児島空港、那覇空港、関門(下関)港、博多港、厳原港の 18 空海港であり、調査実施時期は四半期で 2010 年第 2 四半期期から実施されている。

[4] 以下の説明は http://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/syouhityousa.html に依拠している。

分析に使用した個票データの期間は、インバウンド需要が大幅に拡大する 2015 年第 1 四半期から 17 年第 4 四半期に限定した。18 年以降質問項目が大幅に変更されており、その連続性を確保するため、最終時点を 17 年第 4 四半期とした。ここでは、使用した個票データを目的別・訪問回数別・国籍別・宿泊数別の観点から時系列的に整理した(後掲の図表 2-0-1、2 参照)。

２－１　国籍別最頻滞在日数

まず図表 2-1-1～18(後掲、付録図表)から得られる国籍別訪問者の代表的滞在日数(最頻滞在日数)を時系列データから確定する。なお、滞在日数の分布については図表 2-0-1～3 を参照。結果は表 2-1-0 に要約されている。

図表 2-1-0　国籍別最頻滞在日数要約

	中国	韓国	台湾	北米	欧州	豪州
観光・レジャー(初回)	図表2-1-1 5泊6日	図表2-1-2 3泊4日	図表2-1-3 4泊5日	図表2-1-4 10泊以上	図表2-1-5 10泊以上	図表2-1-6 10泊以上
観光・レジャー(リピーター)	図表2-1-7 5泊6日	図表2-1-8 3泊4日	図表2-1-9 4泊5日	図表2-1-10 10泊以上	図表2-1-11 10泊以上	図表2-1-12 10泊以上
ビジネス(初回) 成田・羽田入港⇒全港出港	-	-	-	-	-	-
ビジネス(リピーター) 成田・羽田入港⇒全港出港	図表2-1-13 10泊以上	図表2-1-14 2泊3日	図表2-1-15 3泊4日	図表2-1-16 4泊5日	図表2-1-17 4泊5日	図表2-1-18 4泊5日

(注)筆者作成。なお、北米は米国・カナダ、欧州は英国・フランス・ドイツ・イタリア・スペイン

【観光・レジャー目的】

中国からの観光・レジャー目的での初回訪問者の代表的な滞在日数は 5 泊 6 日が最も多いことがわかる(図表 2-1-1)。仔細に観察してみると、同宿泊日数で日本に滞在する中国人は徐々に減少しており、6 泊 7 日の滞在が 2 番手ながら安定して増えていることがわかる。韓国の場合には 3 泊 4 日のケースが最も多く総じて増加傾向にある(図表 2-1-2)。また 2 泊 3 日という短期滞在も徐々に増えている。このように中国と比べ最頻宿泊日数が短いのは、日本からの距離が相対的に近い点に起因している。一方、台湾はその中間で 4 泊 5 日のケースが最も多く、ついで 5 泊 6 日となっている(図表 2-1-3)。

北米では 10 泊以上の滞在者が多く、その数は年々増えている(図表 2-1-3)。欧州や豪州においても最頻滞在数は 10 泊以上であり、アジア地域からの訪問者と比べ、滞在日数がかなり長い点が特徴である(図表 2-1-４、2-1-5、2-1-6)。

次に観光・レジャー目的における2回目以上訪問者の場合の滞在日数を見ていく。中国では初回のケースと同様に5泊6日が最も多く、その数は徐々に増えている(図表2-1-7)。韓国でも3泊4日、2泊3日の短期滞在型の観光客数が増えていることが分かる(図表2-1-8)。台湾も4泊5日が最も多く、初回ケースと同じである(図表2-1-9)。北米、欧州及び豪州も初回のケースとほぼ同じであり、10泊以上の長期滞在が顕著である(図表2-1-10、2-1-11、2-1-12)。

【ビジネス目的】

ここではビジネス目的による訪日外国人の代表的な滞在日数について見ておく。中国からの訪問者は、2015年当初は10泊以上の長期滞在が多かったが、徐々に減少している(図表2-1-13)。一方より短期の滞在者(4泊5日)が徐々に増えており、ビジネス目的による滞在が短期化している姿が見て取れる。韓国の場合には、観光・レジャー目的の場合と比べ、最頻宿泊数は1泊少なく、2泊3泊の滞在が多い。なお中国と比べると季節性がより明瞭であり、第2四半期と第4四半期に相対的に増加している(図表2-1-14)。台湾では観光・レジャーのケースのようなはっきりとした特徴は見られないが、3泊4日の短期滞在型が比較的多い(図表2-1-15)。北米、欧州及び豪州も観光・レジャーのケースのような長期滞在型の特徴は見られず、比較的短い日数(主に4泊5日)で滞在していることがわかる。

このようにアジア地域と欧米地域では宿泊日数に堅調な違いが見られ、欧米地域からの観光・レジャー目的での訪日は総じて長期滞在である。ただしビジネス目的の場合にはこうした特徴は必ずしも確認できず、相対的に短期滞在であるケースが多い。

２－２　訪日外国人の移動パターン

訪問地とそのコード

次に訪日外国人の移動パターンについて詳細に観察していくことにする。関西中心とする訪日外国人の移動パターンを理解には、出発地、詳細な移動先(市町村名など)、移動地域(関西圏内か否か)などについて体系的に整理し、分かりやすく視覚化することが不可欠である。そこで考察を行う前に、『訪日外国人消費動向調査』から得られる移動パターンに関する豊富な情報を整理し、視覚化する際の手続きについて簡単に説明しておく。

まず訪問地コードについて説明する。個票データ内には、訪日外国人客が訪れた空海港、観光地名と市町村名などの訪問地の情報が47都道府県別に632個存在し、各訪問地に1～632の通し番号をつけてコード化している(後掲の図表2-2-36参照)。例えば、関西2府4県はコード番号393～463の間で示されている。具体的に『431』:関空を起点にすれば、以東の例では『393』:大津、以西の例では『434』:神戸が示すように、番号が小さくなるにつれてより東、大きくなるにつれてより西の情報を表している。

このように訪問地情報をコード化することで、以下で説明する図表を作成することが可能となり、視覚的に訪日外国人客が入国してから出国するまで、どの地域・都道府県に移動しているかについて分析が可能となる。

移動パターンの読み方

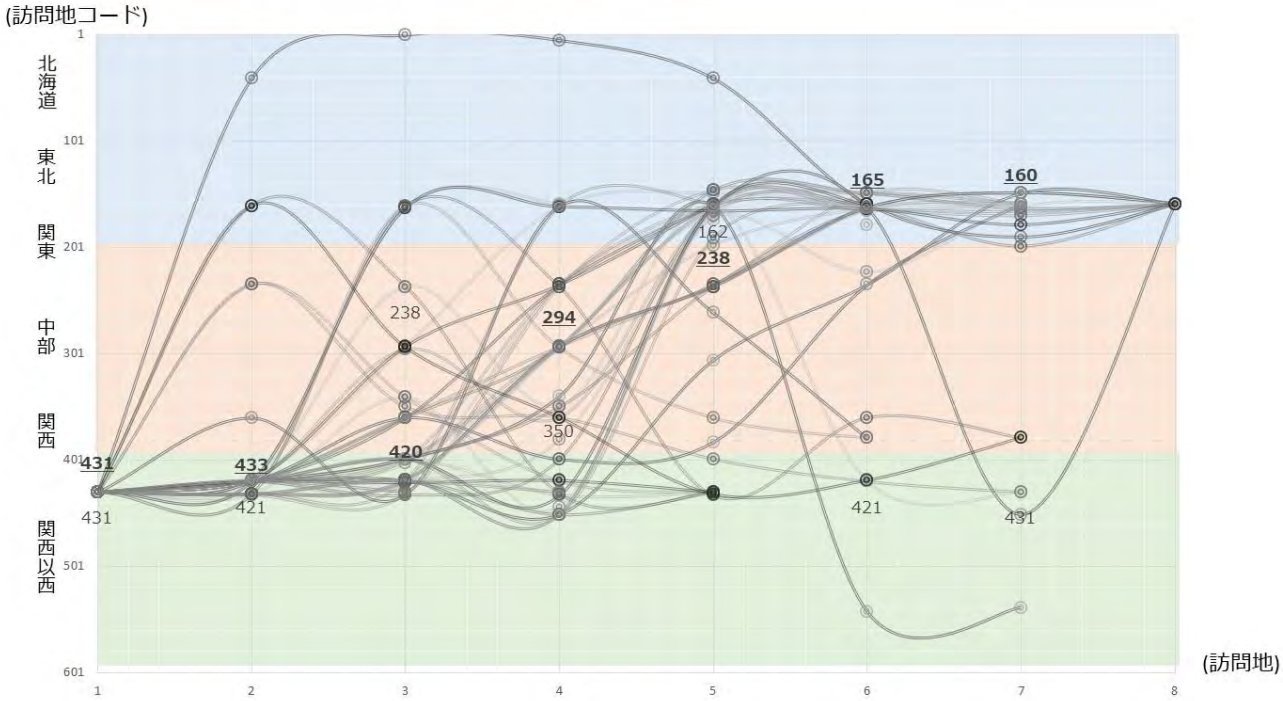
次に訪問地コードをもとに、移動パターンを視覚化する(図表を作成する)際のポイントについて説明しておく。具体的な例(図表 2-2-1)を紹介し、以下の図表の読み方を解説する。

図表 2-2-1 の横軸の目盛りは、入国してから第何番目の訪問地を示しており、縦軸は前述した訪問地コードを表している。また、北海道から関西以西を地域別に区別するため図表の背景に色付けをしており、ブルーは北海道から関東、ピンクは中部から関西、グリーンは関西以西を表している。なお代表的な移動パターンには、訪問地に対応するコード番号が図に表示されている。

入国港にあたる第 1 訪問地には『431』と記されており、これは関空に入国してきたことを表す。そして、入港してから第 2 訪問地では『433』:大阪府へ、第 3 訪問地では『420』:京都府へ移動し関西にとどまっている。しかし、第 4 訪問地では中部地域である『294』:富士五湖内へ移動し、第 5 訪問地になると関東地域の『238』:箱根へ、第 6 訪問地では『165』:浅草を訪れ、最後に第 7 訪問地の『160』:成田空港で出国している[5]。また、少ない例ではあるが、関空で入出国するケースも見られる。このケースでは関空へ入国後、第 2 訪問地『421』:大阪市へ移動し、第 3 訪問地『238』:箱根、第 4 訪問地:『350』:富士市などを周遊し、第 5 訪問地:『162』東京へ行ったのち、第 6 訪問地では第 2 訪問地目と同じ大阪市へ戻り、関空で出国している。その他にも、関空へ入国し中部国際空港または福岡空港で出国するパターンも見られるが、関空で入国し成田空港・羽田空港で出国するパターンが大勢を占めている。このように関西へ滞在したのち中部地区を経て、関東へ移動している人々が多くみられるが、これはゴールデンルート(関西地域から入国し関東地域へ出国する)が、2015 年第 1 四半期においては代表的であることを示している。なお、後掲の図表では紙幅の都合もあり、2015 年第 1 四半期と 17 年第 4 四半期に限定して移動パターンが比較されている。

[5] ここで訪問地番号と滞在日数は必ずしも一致しない点に注意する必要がある。例えば滞在 1 日目で 2 つの訪問地に行く可能性もあるし、2 日間で 1 つの訪問地に居続ける可能性もある。

図表 2-2-1 2015Q1:観光･レジャー目的、中国、初回訪問者



以下の分析に対応する図表は後掲図表 2-2-1～2-2-35 に対応している。また、図表内に太字で示されている数値は関空で入港し他港で出港、他港で入港し関空で出港、もしくは関空で入出港をしている代表的な移動パターンを表しており、こうした図表が分析の理解の一助となる。なお以下の説明では、2015 年第 1 四半期(以下、Q 1 と略記)を「爆買い期」または「バブル期」、2017 年第 4 四半期(以下、Q4 と略記)を「ポスト爆買い期」または「ポストバブル期」と呼ぶことにする。また観光・レジャー目的は「観光目的」に、「2 回目以上訪問者」は「リピータ」に略して表現しておく。

(1)観光・レジャー目的

＜中国＞

ポスト爆買い期には爆買い期と異なる 2 つの特徴が見られる。第 1 は、ポスト爆買い期には関西に入った後、しばらく関西地域にとどまる観光客が多いという点である(図表 2-2-1、2-2-2)。具体的には、爆買い期の場合(図表 2-2-2)、 3 訪問地ですでに関西以外の地域(例えば中部や関東、北海道)に移動している訪問客が観察される。しかしポスト爆買い期には(図表 2-2-2)、関西以外に移動するのは、4 訪問地以降が多い。

第 2 は関西を訪問した後、関東に移動し関東から出国するパターンがポスト爆買い期のほうが顕著であるという点である。必ずしも明確とは言い切れないが、爆買い期には関東に移動したのち再び関西に戻る訪問者のパターンが幾分観察されていた。つまり爆買い期にはゴールデンルートは多少解消されていたと言えるが、ポスト爆買い期にはむしろゴールデンルートが復活しているともい

える。爆買い期には関西において中国人の旺盛な消費が特徴的であった。これは日本国内で様々な地域に移動し最終的に関西に戻ってきたのち、帰国直前に関西においてお土産等の目的で集中して消費を行っていたことを示唆している。多方ポスト爆買い期には、中国人の観光目的は単にモノの消費だけではなく、より多様化している可能性がある。リピータの場合にはサンプル数が少ないため、初回ほど明確な特徴は得られにくいが、爆買い期(図表 2-2-13)には関西から関東に移動した後、関西に戻らないケースが多い。ただしポスト爆買い期には(図表 2-2-14)、関西以外への移動は、4 訪問地以降である場合が多いという特徴は、初回のケースと同じである。

＜韓国＞＜台湾＞

韓国は爆買い期とポスト爆買い期を比較した場合、2 点の特徴が観察される(図表 2-2-3、2-2-4)。爆買い期には関西から入国して関西に滞在しているケースが大半を占めていたが、関西以西、とりわけ九州に足を運び、九州から出国する観光客も見られた。この特徴はポスト爆買い期においても大きな変化はないが、関西に留まる割合が増えている姿が見てとれる。こうした傾向は台湾についても当てはまる(図表 2-2-5、2-2-6)。

リピータの場合、爆買い期、ポスト爆買い期の時期も関西から入国して関西に滞在しているケースが多い。ただし初回と比べると以下の 2 点の違いがある。爆買い期には若干であるが、東北にも足を延ばしている観光客がいる(図表 2-2-15)。第 2 にポスト爆買い期には、初回以上に観光の後半(第 4 訪問地以降で)で九州を訪れている観光客が多く、また訪問地は九州のより広い地域にまたがっている。このように韓国人観光客は、比較的短い滞在日数(約 3 泊 4 日)の中で、関西のみならず九州にまで足を運んで観光している姿が見て取れる。台湾のリピータの場合には、韓国と同様に関西以外の中部や、九州に足を運んでいる観光客がいる(図表 2-2-17、 2 -2-18)。韓国に比べると滞在日数が若干長い(約 4 泊 5 日)ため、中部地方にまで足を運ぶことができるようである。ただし韓国とは異なり、最終的には関西に戻り、関西から出国するケースが多い。

＜北米＞

北米はアジア地域と比べサンプル数が少ないため、明確な特徴を見出すことは難しい(図表 2-2-7、2-2-8)。ただしバブル期、ポストバブル期のいずれの時期においても、関西に入国して関西留まるケースは少なく、関東、東北や北海道、関西以西に足を運ぶ観光客が多い。そして広域に移動した場合には、ほとんど関西に戻っていない。

リピータのケースはかなりサンプル数が少ないが、ポストバブル期には初回以上に観光地がかなり広範囲にわたっていることが分かる(図表 2-2-19、2-2-20)。

＜欧州＞

欧州もアジア地域と比べサンプル数が少ないため、特徴点を見出しにくい(図表 2-2-9、2-2-10)。先に見たように欧州からの観光客は 10 泊以上の長期滞在が多いため、訪問地も関西だけでなく関東や東北、関西以西に広がっている。この特徴は特にポストバブル期において顕著である。

リピータのケースもサンプル数がかなり少ないが、関西に留まっているケースは少なく、関西以外に観光地が広がっている。なお詳細に観察すると、関西以外の地域に移動した後、関西戻ってくる観光客も見られる(図表 2-2-21、2-2-22)。

＜豪州＞

豪州からの観光客も訪米や欧州と同様に長期滞在が多いため、観光地も広範囲に及んでいる(図表 2-2-11、2-2-12)。特に豪州の場合には、関西より東の地域に移動するケースが多く、北海道にまで足を運ぶ観光客も見られる。また北米や欧州と比べ関西に戻ってくるケースが多少多い点も特徴的である。リピータのケースは、北米や欧州と同様にサンプル数が少ないが、初回と同様に北海道にまで足を広げていることがわかる(図表 2-2-23、2-2-24)。

(2)ビジネス目的

ビジネス目的の移動パターンについては、リピータに限定して観察していく。また入国地は、稲田・松林・木下(2018)で明らかとなったように、関東(成田・羽田)からの入国が圧倒的に多いため、以下では関東からの入国に限定したケースについて見ていく。

＜中国＞

中国からの訪日客は、概ね関東に滞在しているが中部や東北地方に移動する日ケースも若干存在している。ただしほとんどのケースは関東に戻っている(図表 2-2-25、2-2-26)。ビジネス目的の場合、先に見たようにビジネス目的での中国人の滞在日数は約 4 泊 5 日であり、観光目的の場合より若干短い。従って移動先もそれほど広域に及んでいない。

＜韓国＞＜台湾＞

韓国の場合にも中国とほぼ同様の特徴が見られる(図表 2-2-27、2-2-28)。ただし東北や北海道、関西や関西以西にまで足を運ぶケースも見られ、ビジネス目的であり平均補滞在日数も 2 泊 3 日と短いものの、中国以上に広範囲に移動していることが分かる。台湾も韓国とほぼ同じ特徴が観察される(図表 2-2-29、2-2-30)。なお概ね広い地域に移動しながらも、最終的には関東に戻っているケースが多い。

＜北米＞＜欧州＞＜豪州＞

北米、欧州及び豪州からのビジネス目的での訪問客は、韓国や台湾以上に広範囲にわたって移動している(図表 2-2-31、2-2-32、2-2-33、2-2-34、2-2-35)。特に北米の場合には、中部や関西及び関西以西など、関東より西の地域に足を運ぶケースが多く見られる。これらの欧米地域からのビジネス目的での訪問客の滞在日数は、約 4 泊 5 日であり中国や台湾と大差ない。したがって限られた日数でかなり精力的に移動している姿が見て取れる。なお最終的には関東から出国しているパターンが多い。

３．分析からの含意

本稿では『訪日外国人消費動向調査』の個票データを用いて、訪日外国人の移動パターンについて整理、考察した。データの詳細な観察から得られた特徴は以下の６点として要約できる。

1) アジア諸国からの訪問客のうち、観光・レジャー目的の場合の最頻滞在日数は、中国が 5 泊 6 日、韓国が 3 泊 4 日、台湾が 4 泊 5 日となっており、ほぼ 1 週間以内となっている。ただし韓国では近年宿泊日数は多少短くなりつつある(図表 2-1-1、2-1-2、2-1-3、2-1-7、2-1-8、2-1-9)。
2) 北米、欧州及び豪州からの観光・レジャー目的による観光客の最頻滞在日数は、10 泊以上である。これはアジア地域の宿泊数の 2 倍以上であり、欧米地域の観光客は総じて長期滞在型である(図表 2-1-4、2-1-5、2-1-6、2-1-10、2-1-11、2-1-12)。
3) 中国の観光・レジャー目的での移動パターンは、関西に入った後はしばらく関西地域にとどまる観光客が多いが、近年は関西を訪問した後、関東に移動し関東から出国するパターンも増えている(図表 2-2-1、2-2-2、2-2-13、2-2-14)。
4) 韓国からの観光客は、関西から入国して関西に滞在しているケースが大半を占めていたが、関西以西に足を運ぶ観光客も見られ始めている。こうした傾向は台湾についても当てはまる(図表 2-2-3、2-2-4、2-2-5、2-2-6、2-2-15、2-2-16、2-2-17、2-2-18)。
5) 北米、欧州及び豪州からの観光客は、関西に入国して関西留まるケースは少なく、関東や北海道、関西以西に足を運ぶ観光客が多い(図表 2-2-7、2-2-8、2-2-9、2-2-10、2-2-11、2-2-12、2-2-19、2-2-20、2-2-21、2-2-22、2-2-23、2-2-24)。
6) 韓国、台湾、北米、欧州及び豪州からのビジネス目的での訪問客は、関東から入国後、広範囲にわたって移動している(図表 2-2-27、2-2-28、2-2-29、2-2-30、2-2-31、2-2-32、2-2-33、2-2-34、2-2-35)。

以上の要約から、関西インバウンド戦略に対して次のようなインプリケーションを得ることができる。第 1 に、アジア地域からの観光客は概ね 1 週間以内の滞在であるものの、関西以外の地域にまで足を延ばし、その範囲も東北から九州まで広範囲に及んでいる。インバウンド需要による日本経済全体の活性化という観点から見れば、訪問地の広域化は望ましい姿ではあるが、関西に注目するならば、ゴールデンルート(関西地域から入国し関東地域から出国する、またはその逆のパターン)への過度の集中は、検討すべき課題と言える。

第 2 に北米や欧州からの観光客の移動動態についてもより丁寧な観察が欠かせない。われわれは稲田・松林・木下(2018)において確認したように、欧州からの観光・レジャー目的での関西空港の利用は羽田と大差ない。ただし今回の観察からも明らかとなったように、彼らの移動範囲は極めて広範囲にわたっており、出国地として最終的に関西に戻ってくるケースは必ずしも多くはない。関西インバウンド需要をより着実なものにしていくためにも、こうした移動パターンをどのように中

長期にわたって修正していくことができるのかを真摯に検討していく必要がある。こうした課題を明らかにするためにも、『訪日外国人消費動向調査』の個票データのさらなる詳細な観察と解析が不可欠であり、今後、具体的には以下のような考察が考えられる。

第 1 に、関西から入国した後の移動パターンを、個別地域に特化してより詳細に観察することが可能である。例えば北陸地方、中国地方、あるいは四国地方は、関西に隣接する地域であり、訪日観光客の移動範囲の広域化という点に注目する場合、非常に興味深いエリアである。図表 2-2-36 には『訪日外国人消費動向調査』の個票データの訪問地が詳細に分類されている。したがって関西以外の地域のどの訪問地に移動し、どのような消費行動を行っているのかという、通時的な移動・消費パターンを、ミクロレベルで追跡することができる。これは関西を核とするインバウンド戦略を深めていく上で、きわめて重要な情報を提供してくれるはずである。

第 2 に、ミクロデータを用いてインバウンド需要の決定要因について定量的に分析することが可能である。訪日外国人の消費行動は、本国での経済状況(あるいは訪日外国人の財布の中身)と、為替レート(厳密には自国通貨と円との交換レート)が鍵となる。ミクロデータには、この 2 つの要因が、日本での消費にどの程度影響しているのかまでは記載されてはいない。記載されているのは個々の訪日外国人の所得水準と、日本での消費支出額である。従って先の 2 つの要因とインバウンド需要の関係の度合いを明らかにするためには、計量分析の手法を用いて明らかにする必要がある。幸い『訪日外国人消費動向調査』の個票データでは各国からの訪問者について、かなりのサンプルが得られるため、精緻な分析が可能となるはずである。

参考文献

稲田義久・下田充(2017)、「訪日外国人消費の経済効果 爆買いから新たな拡張局面へ：比較 2013-16 年」、APIR Trend Watch No.42、2017 年 8 月 4 日.

稲田義久・下田充(2018)、「訪日外国人消費の経済効果　新たな拡張局面は持続するか：比較 2013-17 年」、APIR Trend Watch No.48、2018 年 8 月 3 日.

稲田義久・松林洋一・木下祐輔(2018)、「「訪日外国人消費動向調査」個票データ分析から得られる関西インバウンド戦略へのインプリケーション(1)」、APIR Trend Watch No.47、2017 年 6 月 5 日.

付録　図表

図表 2-0-1　サンプル数(観光･レジャー目的、初回訪問、国籍別、泊数別):2015Q1~2017Q4

●観光・レジャー(初回)												
中国	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日	7泊8日	8泊9日	9泊10日	10泊以上	総数
2015Q1	0	0	0	5	29	120	39	21	11	6	10	241
2015Q2	0	0	0	7	29	176	43	17	19	6	13	310
2015Q3	0	0	1	3	24	148	57	28	24	13	19	317
2015Q4	0	0	0	1	32	116	56	28	12	5	17	267
2016Q1	0	0	0	4	33	133	67	25	7	7	19	295
2016Q2	0	1	1	7	36	150	85	36	16	12	15	359
2016Q3	0	0	0	5	34	137	62	39	24	17	22	340
2016Q4	0	0	1	5	37	96	52	32	11	5	15	254
2017Q1	0	0	0	3	19	96	51	26	12	14	14	235
2017Q2	0	0	0	10	29	106	52	28	21	6	5	257
2017Q3	0	0	0	2	28	119	78	32	32	9	22	322
2017Q4	0	0	3	14	20	96	47	34	18	8	11	251
韓国	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日	7泊8日	8泊9日	9泊10日	10泊以上	総数
2015Q1	0	0	55	165	66	48	21	16	4	1	9	385
2015Q2	1	1	107	157	69	15	5	1	3	1	2	362
2015Q3	0	1	94	217	137	23	30	10	10	2	6	530
2015Q4	0	2	99	193	79	23	9	2	0	2	3	412
2016Q1	0	1	66	231	161	50	22	19	8	6	7	571
2016Q2	0	5	90	227	107	19	3	1	4	1	2	459
2016Q3	0	0	67	303	190	39	16	16	6	5	5	647
2016Q4	0	5	125	246	96	23	5	4	1	1	2	508
2017Q1	0	1	86	332	229	84	29	8	7	4	4	784
2017Q2	0	8	153	288	67	15	5	3	1	1	1	542
2017Q3	0	1	105	294	149	44	11	5	7	1	6	623
2017Q4	0	3	139	217	72	13	7	4	0	1	2	458
台湾	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日	7泊8日	8泊9日	9泊10日	10泊以上	総数
2015Q1	0	0	0	1	24	10	6	1	1	0	0	43
2015Q2	0	0	0	5	33	8	2	1	2	0	3	54
2015Q3	0	0	0	0	23	14	4	5	3	0	2	51
2015Q4	0	1	1	5	15	13	3	2	1	0	2	43
2016Q1	0	0	0	2	20	16	2	10	1	1	3	55
2016Q2	0	0	1	2	34	20	5	3	0	2	4	71
2016Q3	0	0	0	4	42	5	5	8	2	1	3	70
2016Q4	0	0	1	2	14	13	4	3	0	0	0	37
2017Q1	0	0	0	1	28	12	7	2	2	2	2	56
2017Q2	0	1	0	3	42	14	2	2	3	0	1	68
2017Q3	0	0	1	3	28	10	3	7	2	0	2	56
2017Q4	0	0	1	4	39	9	7	4	1	0	1	66

●観光・レジャー(初回)												
北米	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日	7泊8日	8泊9日	9泊10日	10泊以上	総数
2015Q1	0	0	0	0	0	1	0	5	0	1	8	15
2015Q2	0	0	1	0	0	2	0	2	4	0	8	17
2015Q3	0	0	1	1	1	4	1	5	1	1	9	24
2015Q4	0	0	1	0	2	1	1	1	1	2	8	17
2016Q1	0	0	0	1	1	0	2	1	2	1	2	10
2016Q2	1	1	0	0	1	1	2	5	5	4	6	26
2016Q3	0	0	3	0	1	0	2	2	2	3	14	27
2016Q4	0	0	0	1	1	1	6	3	3	3	11	29
2017Q1	0	0	0	2	0	2	3	1	2	0	6	16
2017Q2	0	2	1	2	1	1	2	2	4	3	14	32
2017Q3	0	0	0	0	0	6	6	2	2	1	14	31
2017Q4	0	0	0	0	3	1	3	2	4	0	16	29
欧州	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日	7泊8日	8泊9日	9泊10日	10泊以上	総数
2015Q1	0	0	2	2	4	0	0	4	0	2	8	22
2015Q2	0	0	1	0	0	5	7	2	2	2	21	40
2015Q3	0	0	0	1	1	1	3	2	0	1	27	36
2015Q4	0	0	1	0	1	1	0	4	1	1	19	28
2016Q1	0	0	1	1	0	0	5	1	0	2	7	17
2016Q2	0	0	0	0	0	0	2	2	1	1	31	37
2016Q3	0	0	0	2	0	0	1	0	0	6	51	60
2016Q4	0	0	0	2	0	0	1	2	4	3	24	36
2017Q1	0	1	0	0	1	1	1	4	1	3	7	19
2017Q2	0	0	1	1	0	1	0	1	2	2	27	35
2017Q3	0	0	0	1	0	0	0	1	1	4	23	30
2017Q4	0	0	0	0	0	1	5	2	3	1	18	30
豪州	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日	7泊8日	8泊9日	9泊10日	10泊以上	総数
2015Q1	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	10	14
2015Q2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	9	11
2015Q3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	3
2015Q4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	7	9
2016Q1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6
2016Q2	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	10	14
2016Q3	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	3	5
2016Q4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	10	12
2017Q1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	8	10
2017Q2	0	0	0	0	1	0	3	0	1	0	7	12
2017Q3	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	4	7
2017Q4	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	12	15

図表 2-0-2 サンプル数(観光･レジャー目的、2 回目以上訪問、国籍別、泊数別):2015Q1~2017Q4

●観光・レジャー(2回目以上)												
中国	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日	7泊8日	8泊9日	9泊10日	10泊以上	総数
2015Q1	0	0	2	5	13	23	9	11	6	0	9	78
2015Q2	0	1	2	6	22	39	13	7	8	4	8	110
2015Q3	0	0	0	3	11	24	14	9	7	6	13	87
2015Q4	0	0	4	6	26	22	13	13	10	3	14	111
2016Q1	0	0	2	7	26	48	27	16	17	8	9	160
2016Q2	0	0	1	13	28	36	18	20	4	6	14	140
2016Q3	0	0	0	4	16	31	16	19	7	8	18	119
2016Q4	0	0	2	11	27	24	23	17	10	3	7	124
2017Q1	0	0	2	5	20	49	12	23	6	4	20	141
2017Q2	0	0	4	26	41	39	23	23	17	9	9	191
2017Q3	0	0	3	5	19	34	18	29	17	9	21	155
2017Q4	0	0	5	19	40	47	23	21	10	6	12	183
韓国	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日	7泊8日	8泊9日	9泊10日	10泊以上	総数
2015Q1	0	4	93	172	71	28	11	9	6	4	14	412
2015Q2	2	12	148	185	63	28	7	4	1	3	7	460
2015Q3	0	2	56	160	95	33	31	10	13	3	8	411
2015Q4	0	6	141	187	67	19	13	7	2	0	7	449
2016Q1	0	1	57	151	114	39	22	20	9	4	2	419
2016Q2	0	22	128	195	87	24	5	9	2	2	9	483
2016Q3	0	3	64	194	118	33	18	18	3	12	13	476
2016Q4	1	13	148	252	97	20	13	7	2	1	3	557
2017Q1	0	3	71	209	120	44	18	12	5	7	6	495
2017Q2	0	24	226	304	81	21	11	3	7	1	6	684
2017Q3	1	7	105	262	125	32	9	19	2	1	9	572
2017Q4	0	15	196	248	90	16	6	5	4	5	4	589
台湾	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日	7泊8日	8泊9日	9泊10日	10泊以上	総数
2015Q1	0	0	2	9	84	30	17	25	9	5	4	185
2015Q2	0	0	1	12	75	48	23	15	14	1	7	196
2015Q3	0	1	1	6	84	24	22	11	14	6	11	180
2015Q4	0	1	3	19	62	41	27	18	12	5	7	195
2016Q1	0	1	0	11	80	45	25	29	13	5	4	213
2016Q2	0	1	3	13	65	53	22	24	11	2	11	205
2016Q3	0	0	4	4	71	32	23	16	12	5	24	191
2016Q4	0	1	6	19	85	52	15	9	8	8	13	216
2017Q1	0	0	2	17	89	42	27	22	12	6	11	228
2017Q2	0	0	5	19	98	36	13	11	8	9	15	214
2017Q3	0	1	2	11	75	35	29	25	8	10	16	212
2017Q4	0	0	5	18	75	37	17	18	12	5	11	198

●観光・レジャー(2回目以上)												
北米	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日	7泊8日	8泊9日	9泊10日	10泊以上	総数
2015Q1	0	0	0	1	0	3	3	1	1	1	3	13
2015Q2	0	0	0	1	1	2	1	0	1	0	6	12
2015Q3	0	0	0	1	2	4	1	1	0	1	10	20
2015Q4	0	1	0	1	3	1	1	3	1	1	10	22
2016Q1	0	1	2	1	4	2	0	4	0	0	4	18
2016Q2	0	0	0	0	1	5	0	1	0	0	8	15
2016Q3	0	0	1	2	0	2	0	4	3	1	6	19
2016Q4	0	0	1	1	1	1	0	3	1	3	10	21
2017Q1	0	0	0	2	3	0	0	3	0	2	4	14
2017Q2	0	0	1	1	2	0	2	4	1	1	4	16
2017Q3	0	0	2	0	2	0	2	4	2	2	8	22
2017Q4	0	0	1	2	1	1	0	3	1	0	12	21
欧州	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日	7泊8日	8泊9日	9泊10日	10泊以上	総数
2015Q1	0	0	1	2	3	0	0	1	1	0	6	14
2015Q2	0	0	1	0	2	1	0	1	1	0	5	11
2015Q3	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	11	15
2015Q4	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	12	15
2016Q1	0	0	1	1	3	0	0	4	1	0	4	14
2016Q2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	21	25
2016Q3	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	12	14
2016Q4	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	6	8
2017Q1	0	0	0	0	1	1	1	2	0	1	8	14
2017Q2	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0	12	16
2017Q3	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	7	13
2017Q4	0	0	0	1	0	0	0	2	2	2	14	21
豪州	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日	7泊8日	8泊9日	9泊10日	10泊以上	総数
2015Q1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	7	9
2015Q2	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	6	9
2015Q3	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	5	9
2015Q4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	4
2016Q1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6
2016Q2	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0	8	13
2016Q3	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	4	6
2016Q4	0	1	0	0	1	1	0	3	0	1	0	7
2017Q1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5
2017Q2	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	4
2017Q3	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	4	8
2017Q4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	7	10

図表 2-0-3 サンプル数(ビジネス目的、2 回目以上訪問、国籍別、泊数別):2015Q1~2017Q4

●ビジネス(2回目以上)

中国	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日	7泊8日	8泊9日	9泊10日	10泊以上	総数
2015Q1	0	1	9	40	16	19	18	5	7	4	39	158
2015Q2	0	1	7	18	17	13	16	4	2	0	34	112
2015Q3	0	1	8	16	10	13	7	4	1	0	28	88
2015Q4	0	2	6	22	28	21	14	12	2	1	24	132
2016Q1	0	0	5	22	20	11	16	5	1	6	26	112
2016Q2	0	0	6	14	24	15	11	2	0	1	16	89
2016Q3	0	0	2	7	12	8	5	3	2	0	27	66
2016Q4	0	0	9	30	19	20	8	9	3	4	34	136
2017Q1	0	1	3	17	15	19	9	3	0	3	25	95
2017Q2	0	1	5	20	20	20	14	4	3	1	27	115
2017Q3	0	0	7	19	18	10	8	1	2	2	24	91
2017Q4	0	0	5	13	24	17	10	7	1	2	18	97

韓国	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日	7泊8日	8泊9日	9泊10日	10泊以上	総数
2015Q1	1	39	99	62	42	21	6	5	7	3	21	306
2015Q2	3	81	148	124	58	31	12	3	4	3	22	489
2015Q3	2	50	108	70	43	11	11	8	3	5	20	331
2015Q4	5	73	126	92	36	23	7	3	2	6	33	406
2016Q1	0	29	84	37	29	8	6	4	2	3	10	212
2016Q2	3	69	138	93	45	10	9	8	2	1	16	394
2016Q3	4	57	84	41	25	8	10	0	1	1	23	254
2016Q4	1	27	105	72	58	9	14	9	2	1	14	312
2017Q1	1	35	67	51	30	11	9	2	3	0	14	223
2017Q2	2	53	136	90	50	15	13	3	1	4	21	388
2017Q3	0	36	58	42	21	11	2	5	2	5	24	206
2017Q4	0	51	110	75	39	8	14	4	0	1	14	316

台湾	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日	7泊8日	8泊9日	9泊10日	10泊以上	総数
2015Q1	0	1	8	14	9	8	2	1	3	0	7	53
2015Q2	0	3	7	13	11	4	4	1	0	1	5	49
2015Q3	0	2	6	13	12	10	5	1	2	1	6	58
2015Q4	0	2	8	24	13	11	3	2	2	0	3	68
2016Q1	0	1	9	23	16	10	6	0	0	3	7	75
2016Q2	0	1	15	21	13	6	5	2	0	2	9	74
2016Q3	0	0	11	5	20	5	3	0	0	0	5	49
2016Q4	0	2	20	22	10	14	2	3	2	2	6	83
2017Q1	0	1	9	18	15	7	4	1	0	0	1	56
2017Q2	0	1	8	17	13	8	7	2	0	1	5	62
2017Q3	0	1	9	9	8	2	5	1	0	0	12	47
2017Q4	0	1	12	8	24	7	5	2	0	0	8	67

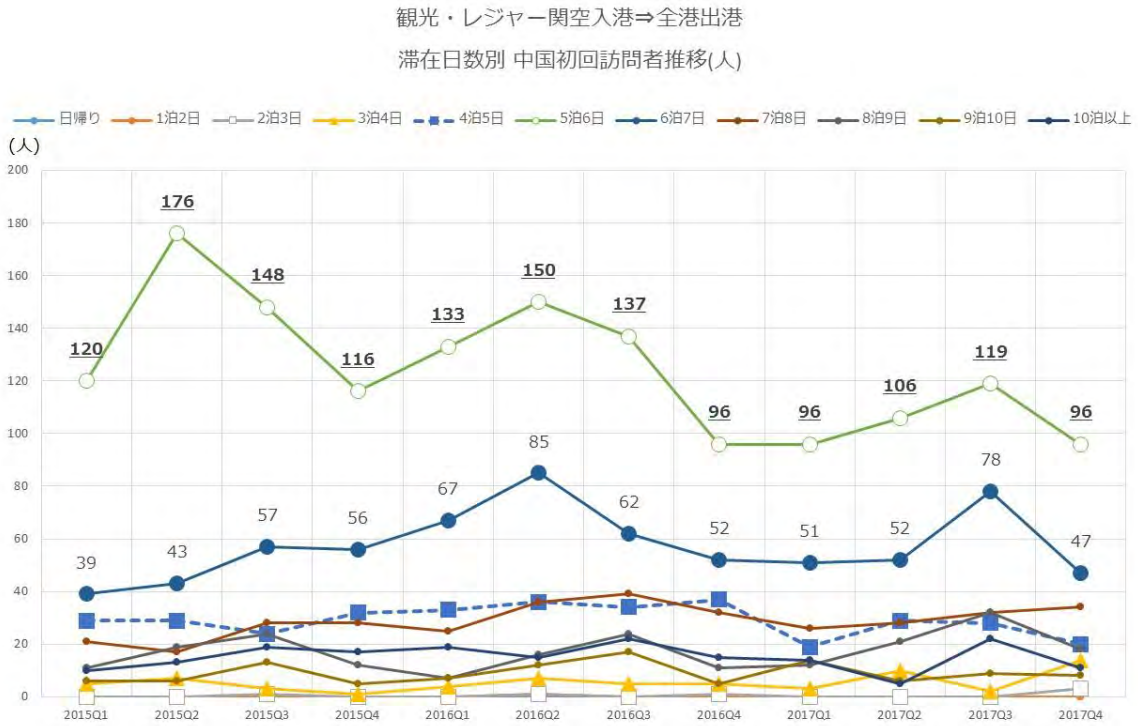
●ビジネス(2回目以上)

北米	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日	7泊8日	8泊9日	9泊10日	10泊以上	総数
2015Q1	1	8	23	44	55	42	27	21	9	3	54	287
2015Q2	0	4	14	29	31	34	22	11	6	5	39	195
2015Q3	0	1	16	26	38	35	29	22	2	4	43	216
2015Q4	0	1	12	26	32	32	18	21	7	6	34	189
2016Q1	1	9	21	48	34	34	30	18	7	3	42	247
2016Q2	1	3	9	29	31	23	13	14	10	4	30	167
2016Q3	0	5	8	24	31	24	14	18	5	6	28	163
2016Q4	0	4	11	16	35	21	14	10	8	4	19	142
2017Q1	0	6	11	36	50	33	20	23	4	8	36	227
2017Q2	0	0	8	23	27	23	13	6	8	4	23	135
2017Q3	0	1	12	18	43	10	11	14	4	6	44	163
2017Q4	0	3	10	29	29	33	14	16	6	2	22	164

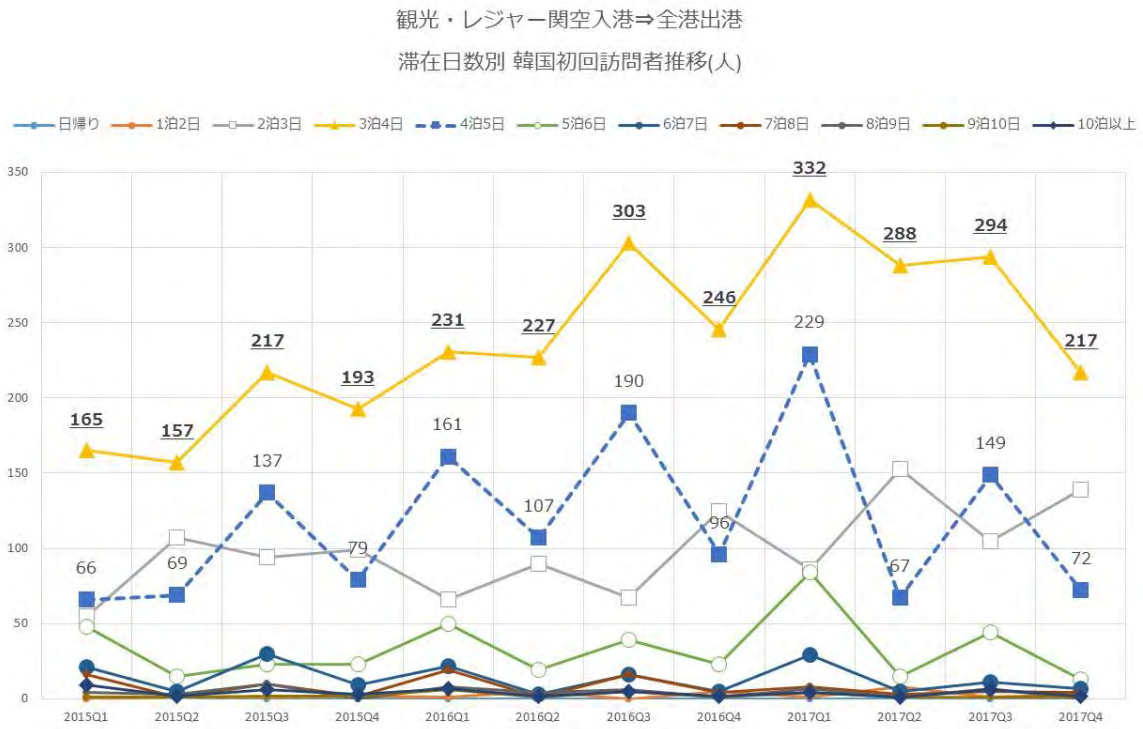
欧州	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日	7泊8日	8泊9日	9泊10日	10泊以上	総数
2015Q1	0	3	11	27	39	31	21	18	6	7	46	209
2015Q2	0	2	7	21	21	21	7	9	6	1	17	112
2015Q3	0	3	12	16	15	10	13	10	8	4	20	111
2015Q4	0	0	6	16	23	14	9	10	7	1	21	107
2016Q1	0	4	11	28	35	21	17	24	5	9	25	179
2016Q2	1	1	7	22	18	17	13	3	7	3	17	109
2016Q3	0	0	6	10	13	21	7	9	2	1	14	83
2016Q4	0	1	12	8	14	12	6	16	5	3	22	99
2017Q1	0	3	10	21	43	32	17	17	10	6	33	192
2017Q2	0	1	5	13	18	21	9	2	4	2	17	92
2017Q3	0	2	5	25	25	9	10	6	5	3	34	124
2017Q4	0	1	4	13	23	23	12	11	4	6	21	118

豪州	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日	7泊8日	8泊9日	9泊10日	10泊以上	総数
2015Q1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	2	5
2015Q2	0	1	0	2	1	2	1	0	0	0	1	8
2015Q3	0	0	5	1	8	6	0	2	2	0	5	29
2015Q4	0	0	3	2	4	2	1	2	0	0	1	15
2016Q1	0	0	1	1	2	1	0	2	0	0	0	7
2016Q2	0	0	1	1	4	1	3	0	0	0	3	13
2016Q3	0	0	1	1	2	4	0	0	0	0	2	10
2016Q4	0	0	3	0	4	2	0	0	1	0	2	12
2017Q1	0	0	0	2	2	1	1	2	0	0	4	12
2017Q2	0	0	1	4	3	2	1	1	0	0	1	13
2017Q3	0	0	4	7	4	1	1	0	0	1	2	20
2017Q4	0	0	1	5	6	1	0	0	0	1	2	16

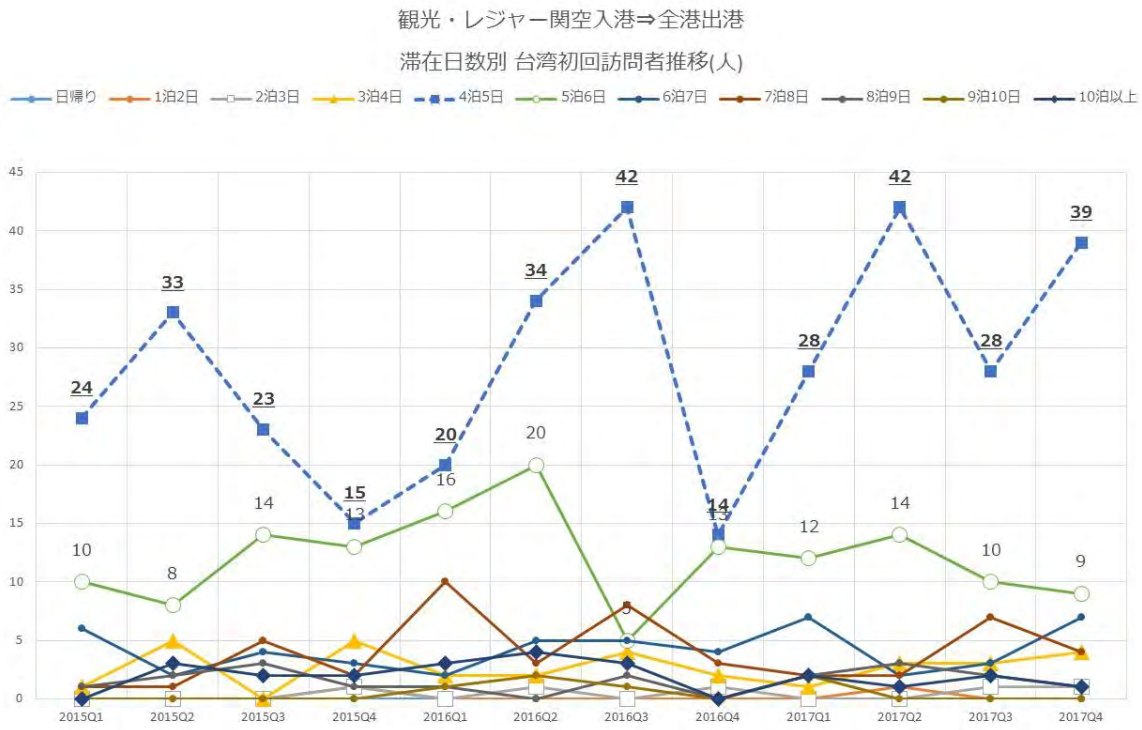
図表 2-1-1 国籍別最頻滞在日数(観光･レジャー目的、中国、初回訪問)



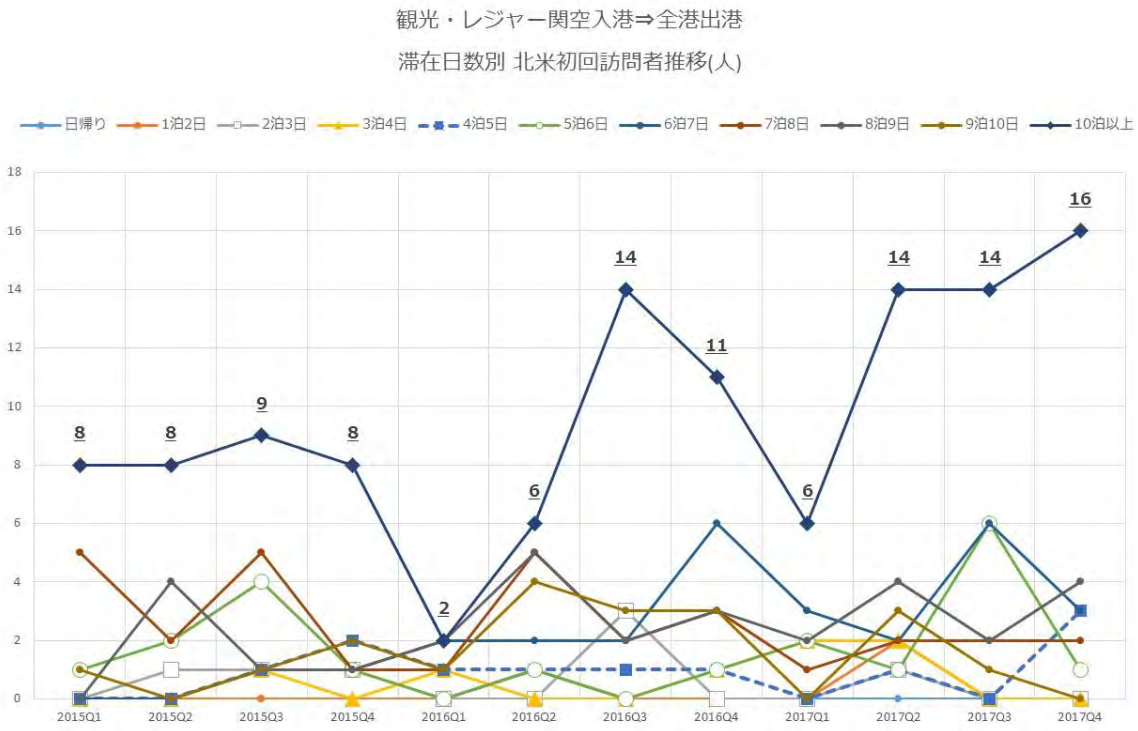
図表 2-1-2 国籍別最頻滞在日数(観光･レジャー目的、韓国、初回訪問者)



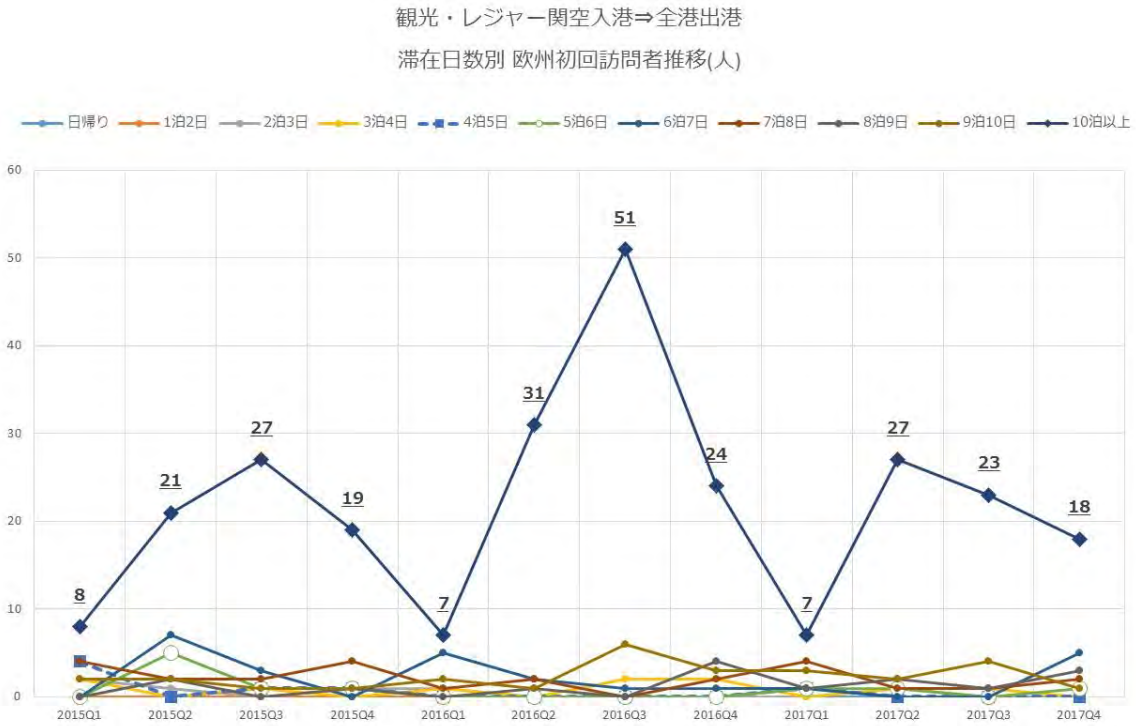
図表 2-1-3 国籍別最頻滞在日数(観光･レジャー目的、台湾、初回訪問者)



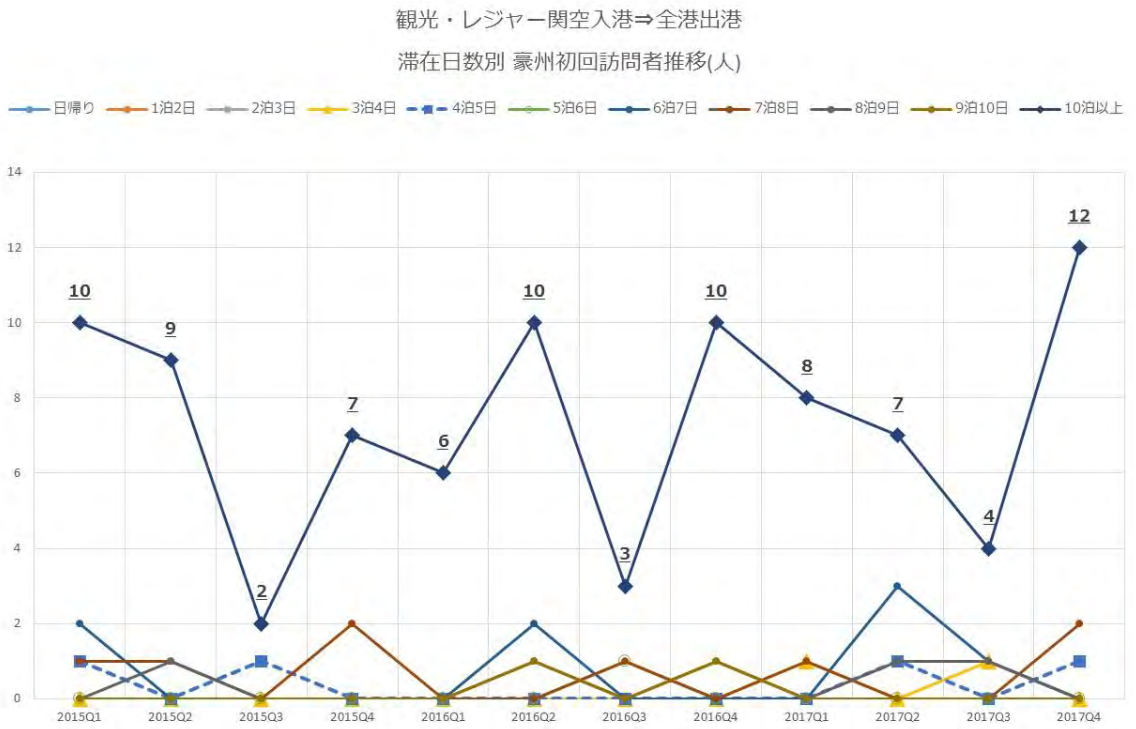
図表 2-1-4 国籍別最頻滞在日数(観光･レジャー目的、北米、初回訪問者)



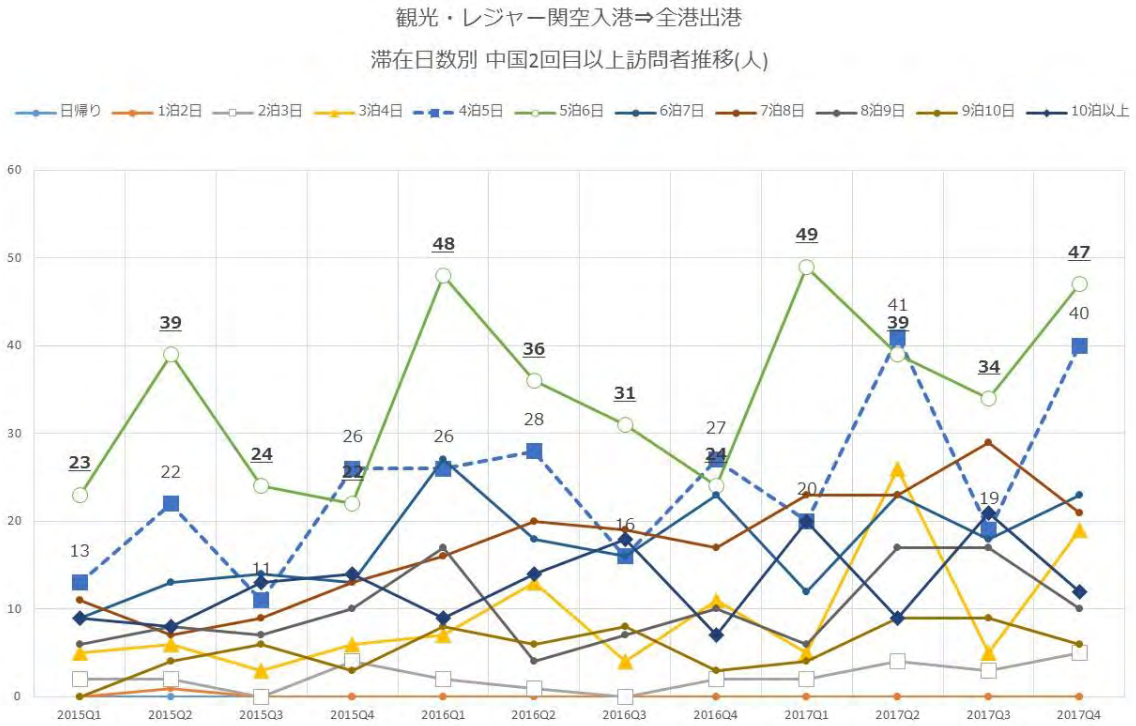
図表 2-1-5 国籍別最頻滞在日数(観光･レジャー目的、欧州、初回訪問者)



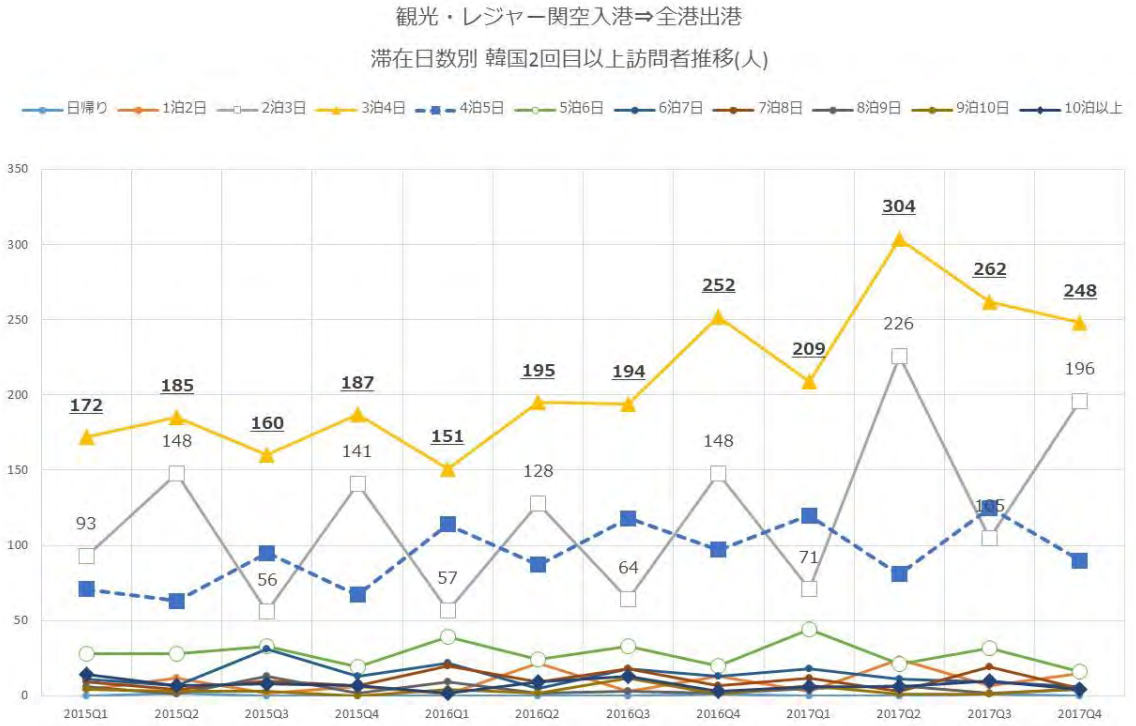
図表 2-1-6 国籍別最頻滞在日数(観光･レジャー目的、豪州、初回訪問者)



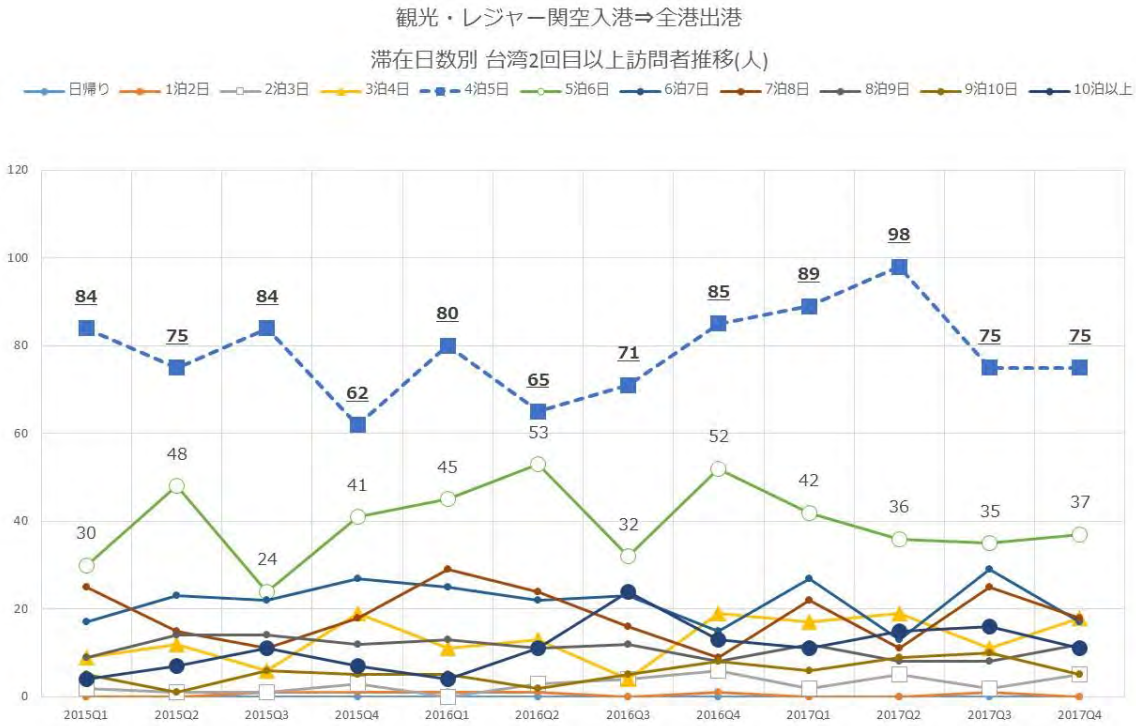
図表 2-1-7 国籍別最頻滞在日数(観光･レジャー目的、中国、2 回目以上訪問者)



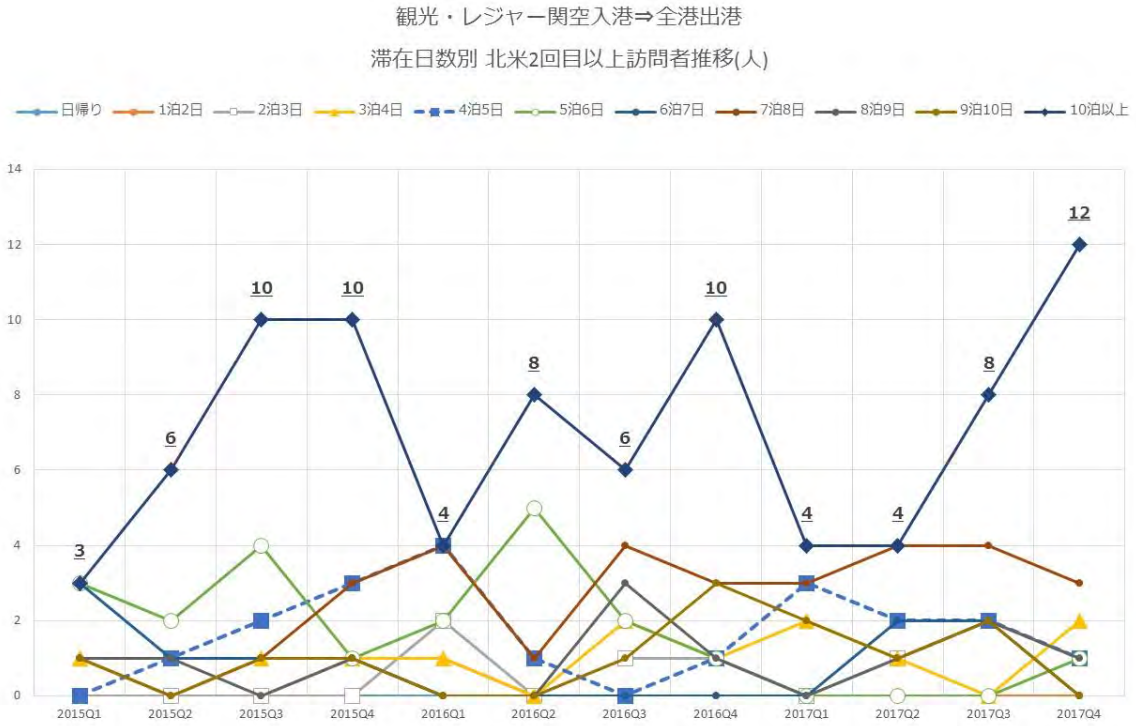
図表 2-1-8 国籍別最頻滞在日数(観光･レジャー目的、韓国、2 回目以上訪問者)



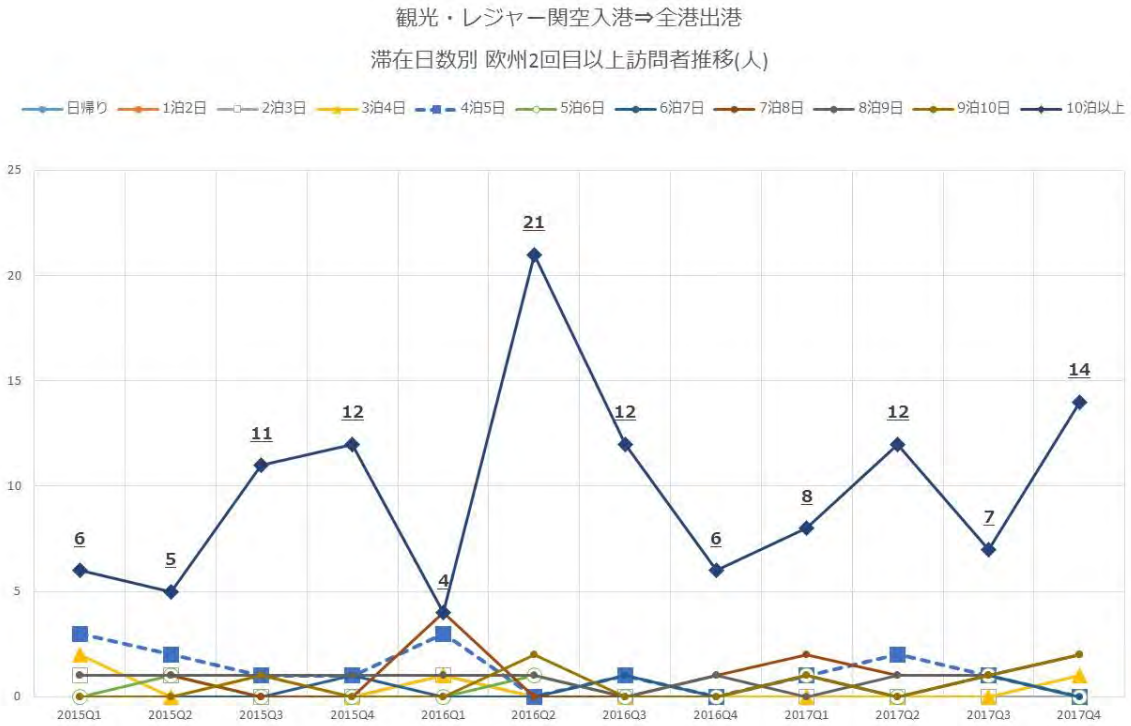
図表 2-1-9 国籍別最頻滞在日数(観光･レジャー目的、台湾、2 回目以上訪問者)



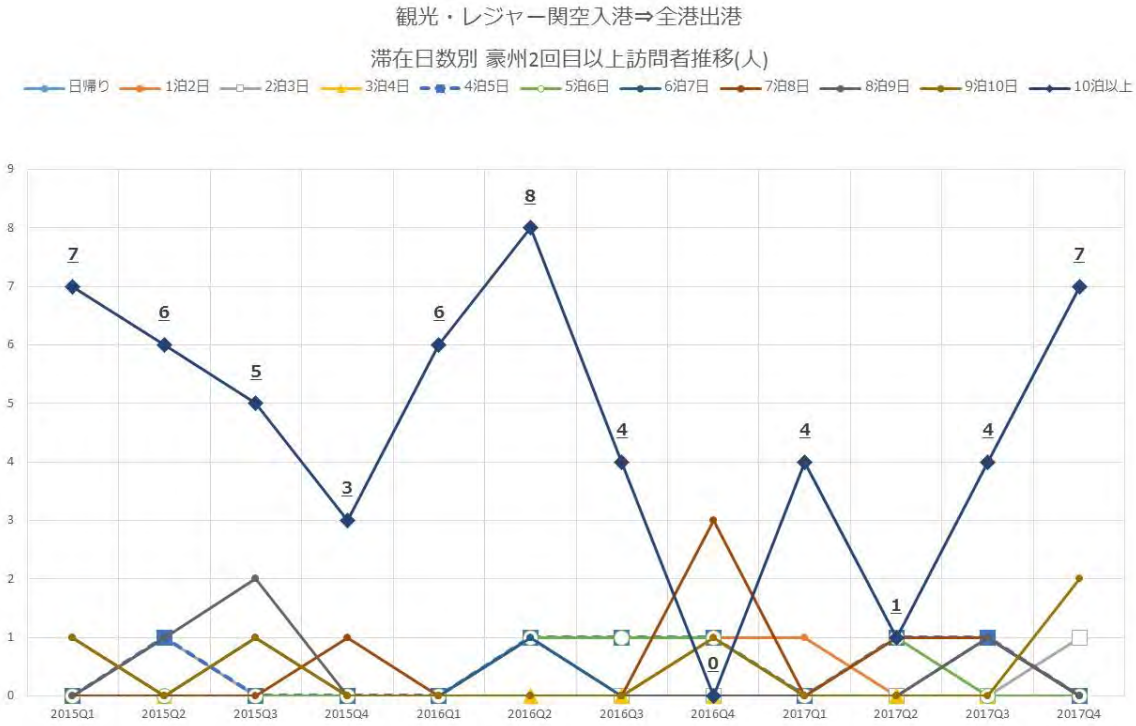
図表 2-1-10 国籍別最頻滞在日数(観光･レジャー目的、北米、2 回目以上訪問者)



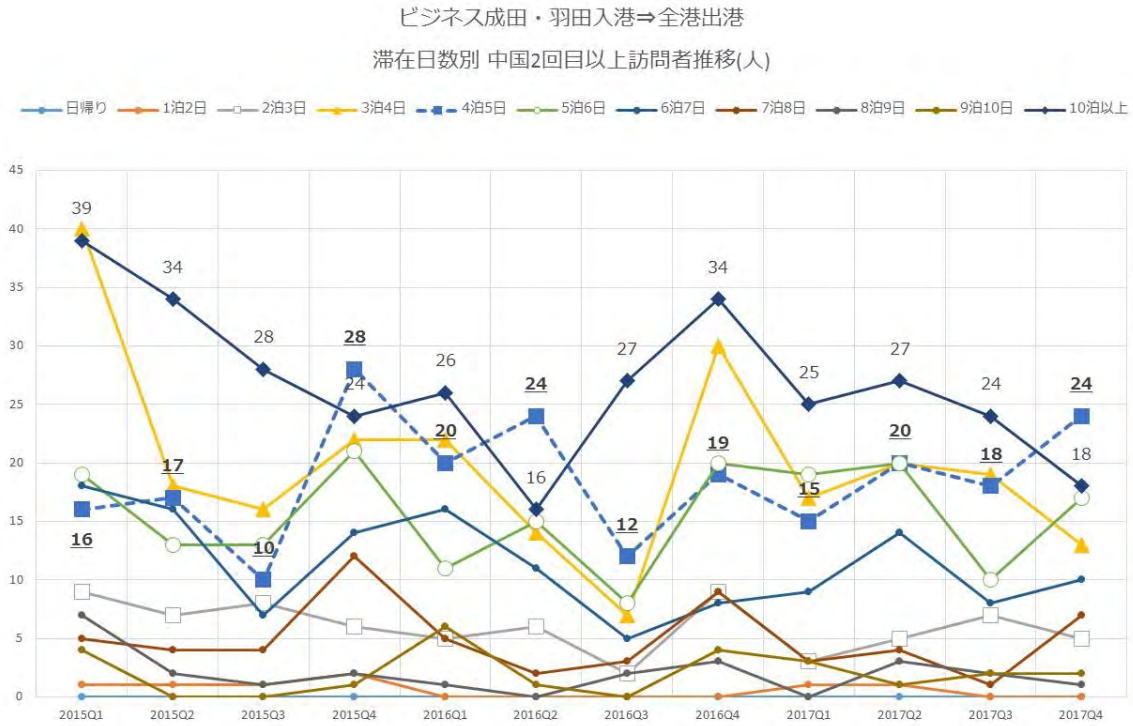
図表 2-1-11 国籍別最頻滞在日数(観光･レジャー目的、欧州、2 回目以上訪問者)



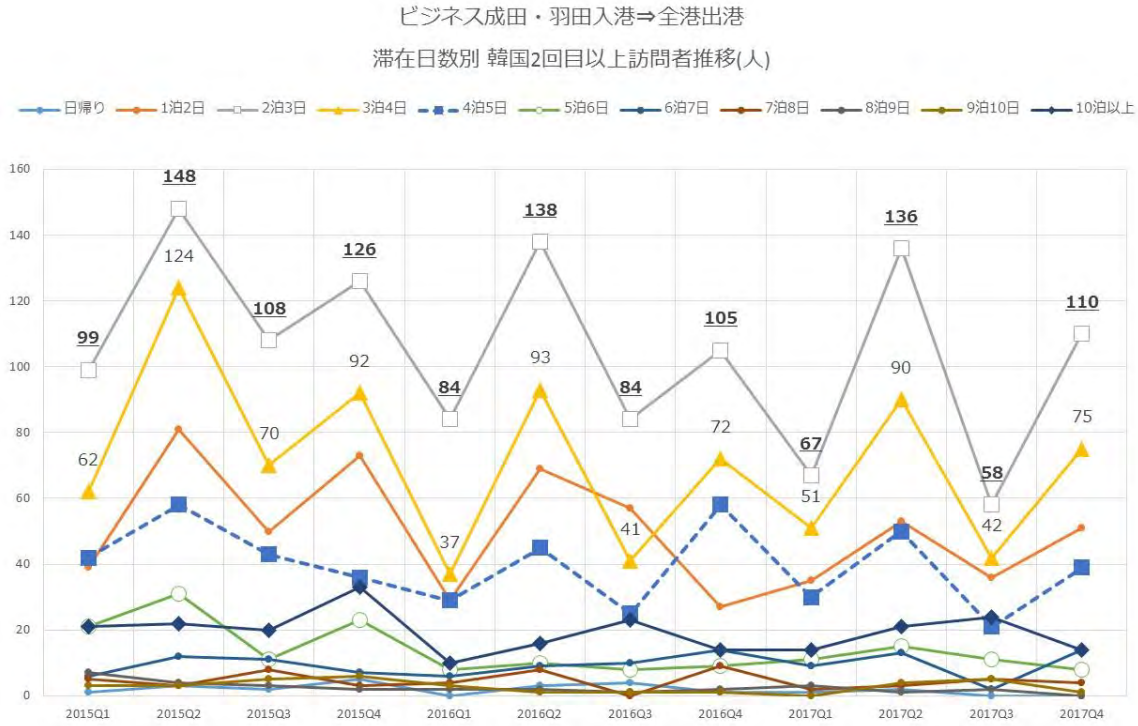
図表 2-1-12 国籍別最頻滞在日数(観光･レジャー目的、豪州、2 回目以上訪問者)



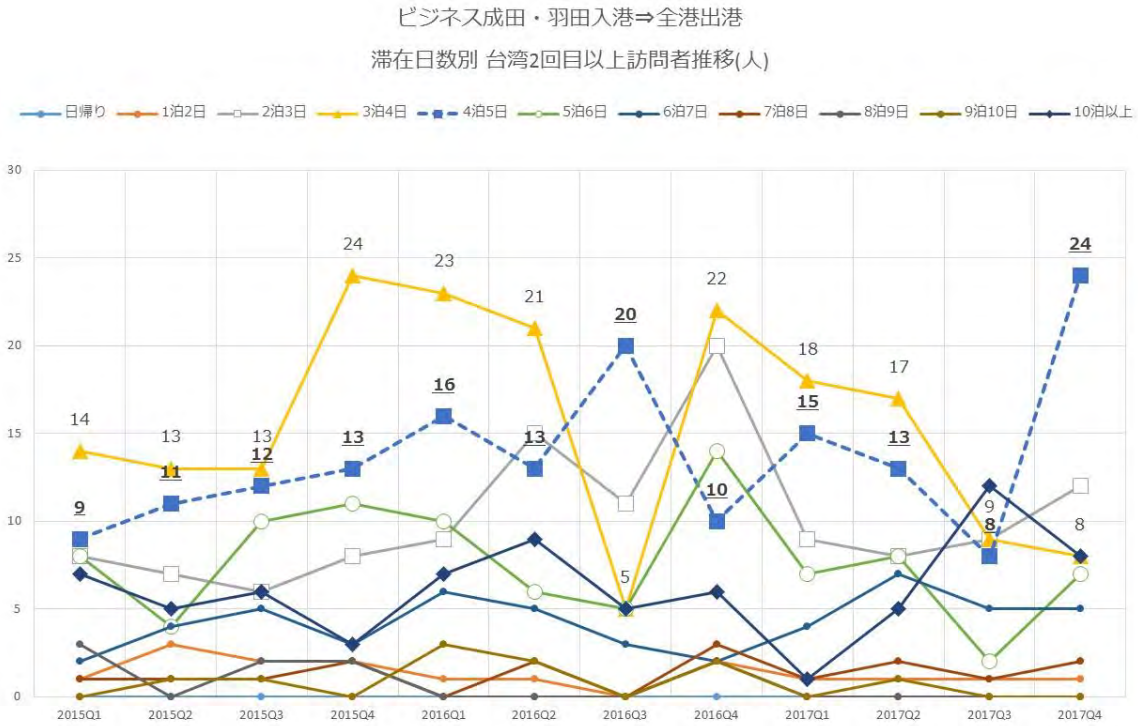
図表 2-1-13 国籍別最頻滞在日数(ビジネス目的、中国、2 回目以上訪問者)



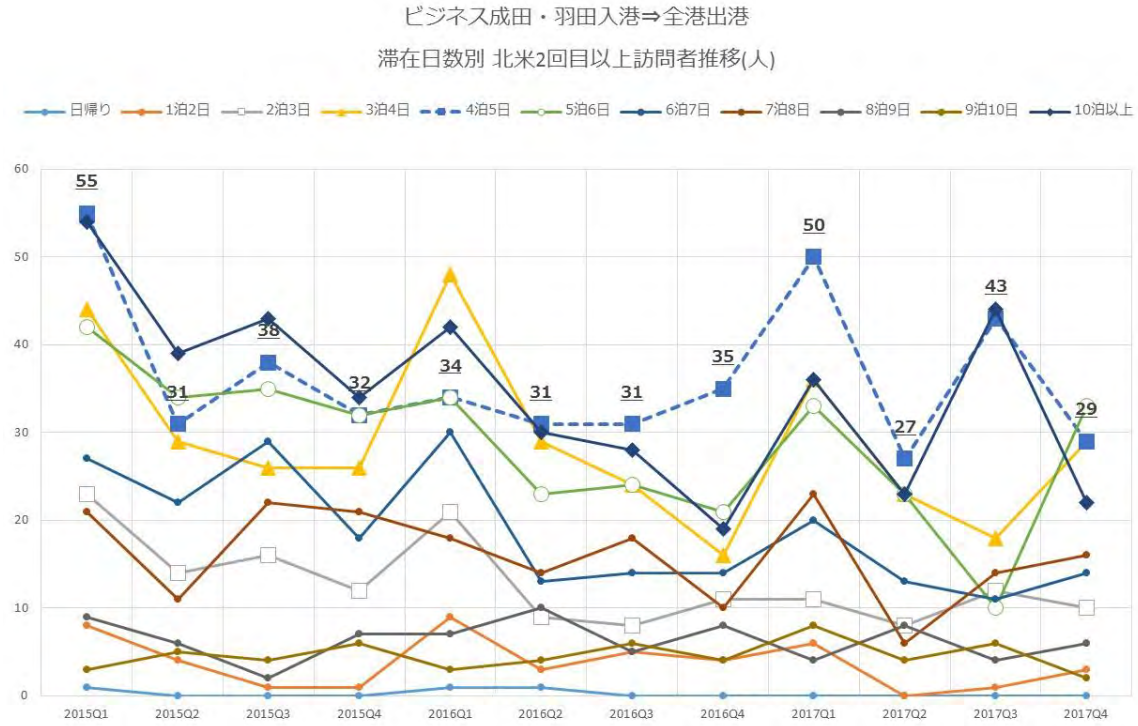
図表 2-1-14 国籍別最頻滞在日数(ビジネス目的、韓国、2 回目以上訪問者)



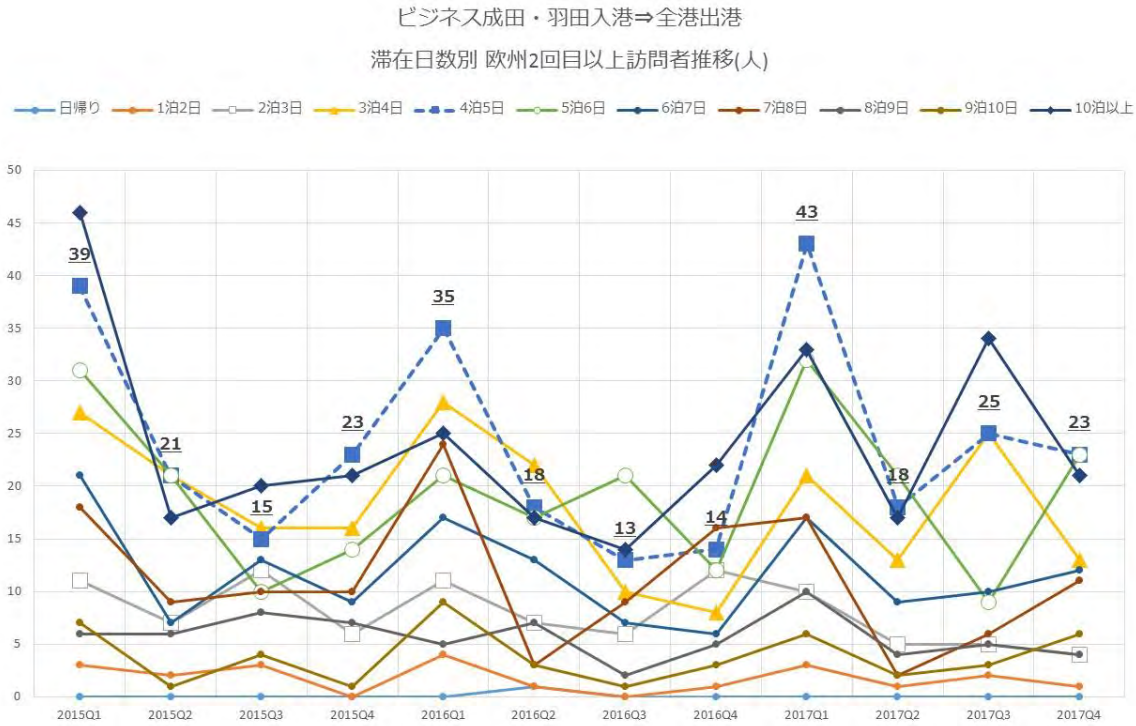
図表 2-1-15 国籍別最頻滞在日数(ビジネス目的、台湾、2 回目以上訪問者)



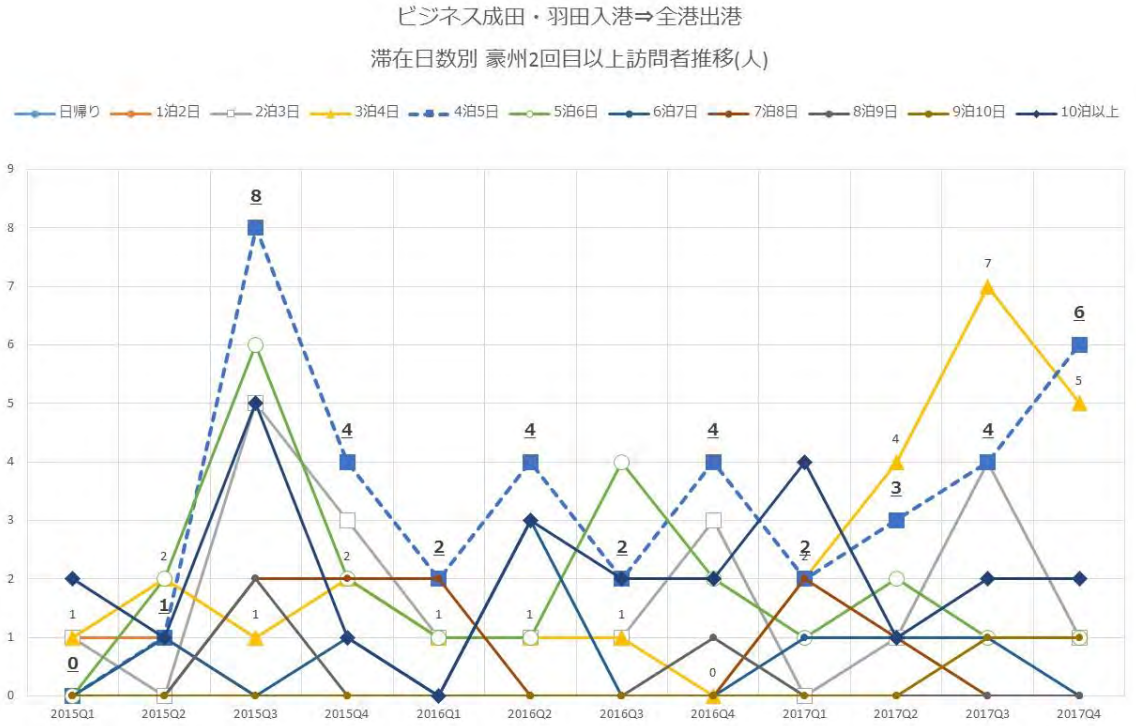
図表 2-1-16 国籍別最頻滞在日数(ビジネス目的、北米、2 回目以上訪問者)



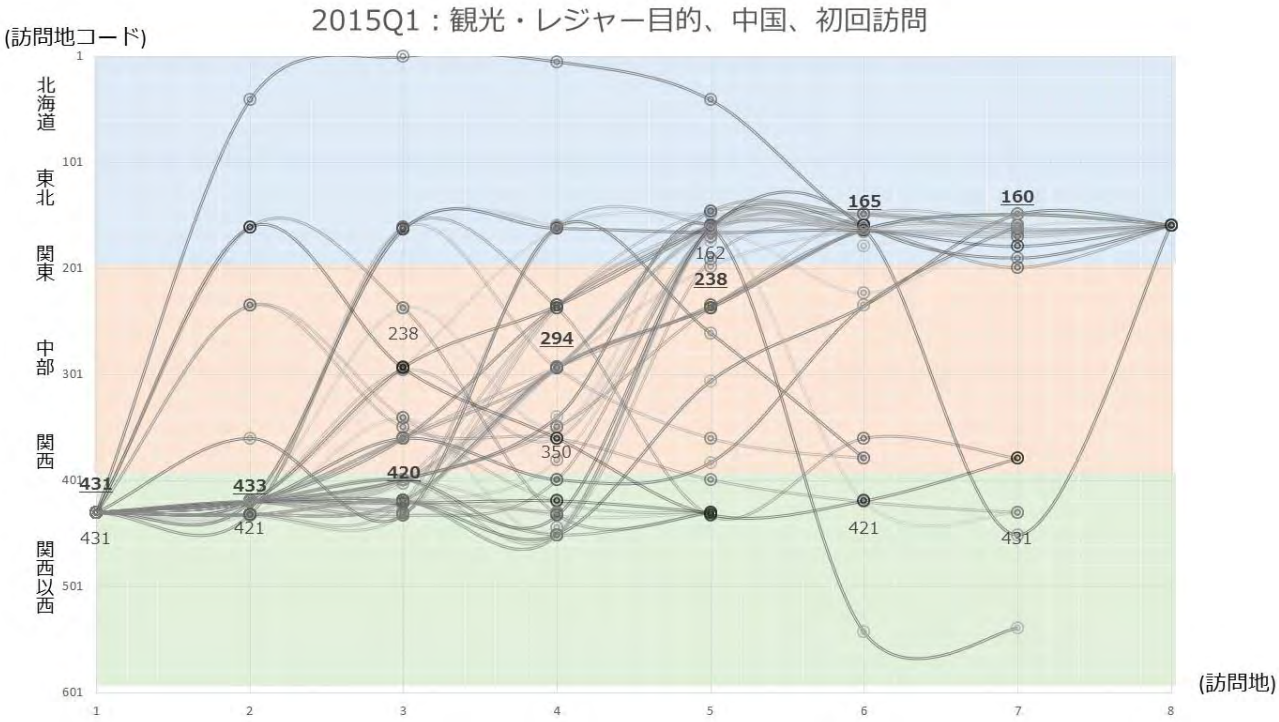
図表 2-1-17 国籍別最頻滞在日数(ビジネス目的、欧州、2 回目以上訪問者)



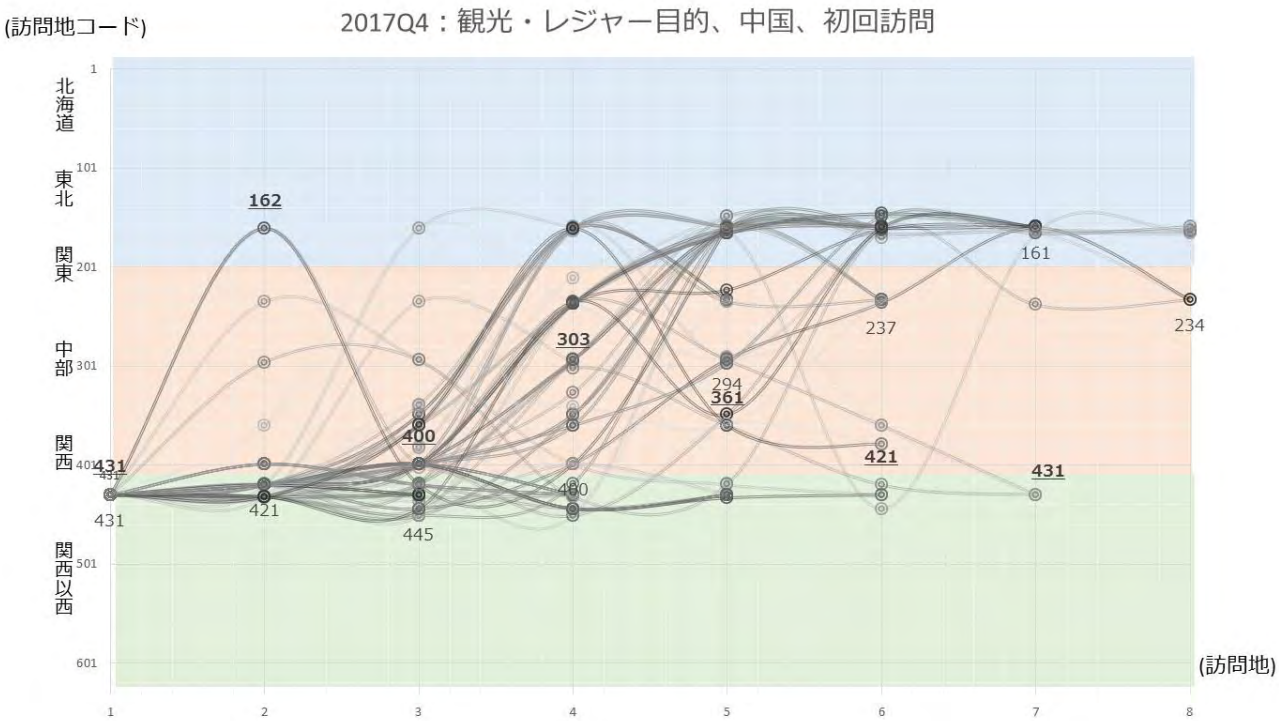
図表 2-1-18 国籍別最頻滞在日数(ビジネス目的、豪州、2 回目以上訪問者)



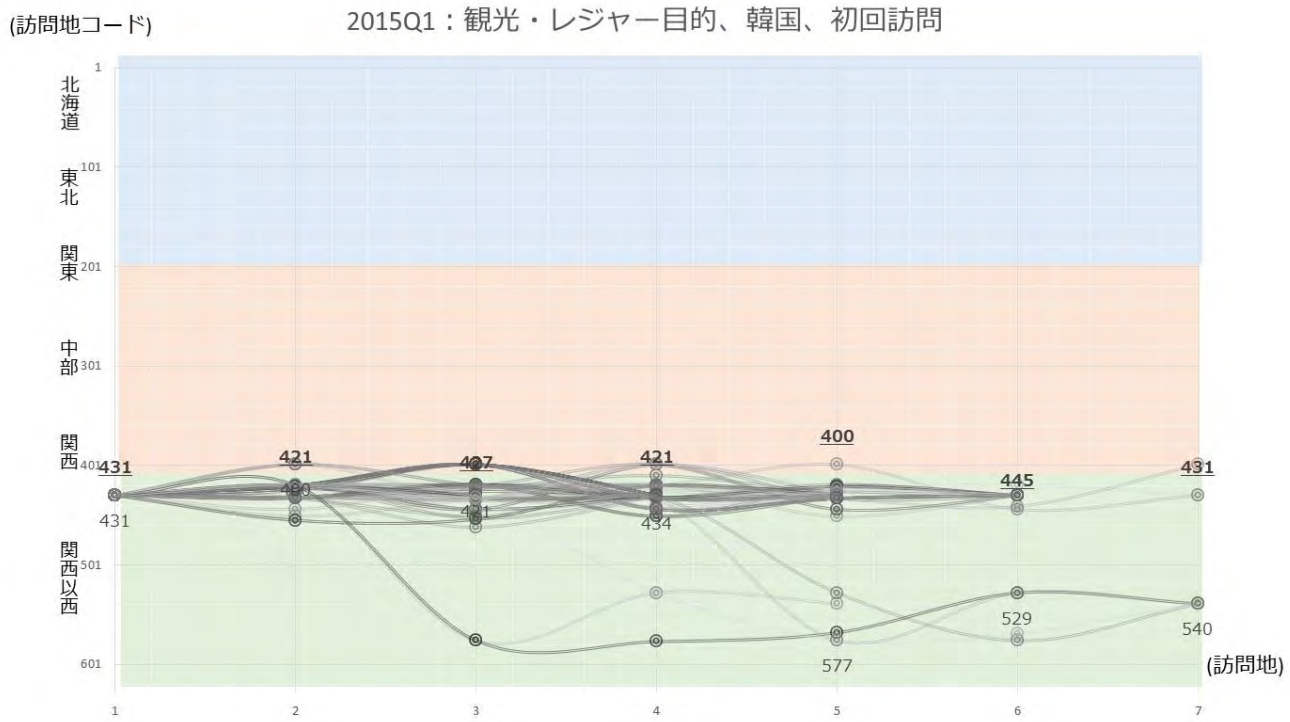
図表 2-2-1 2015Q1:観光･レジャー目的、中国、初回訪問者(再掲)



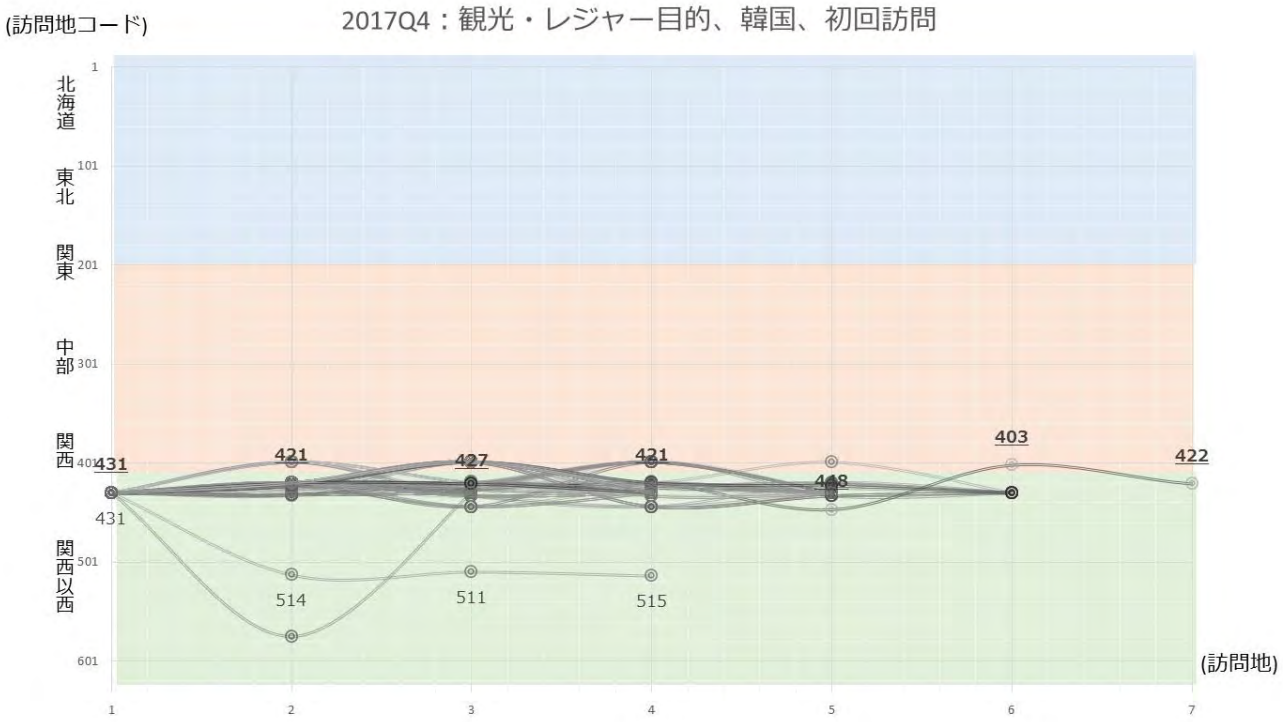
図表 2-2-2 2017Q4:観光･レジャー目的、中国、初回訪問者



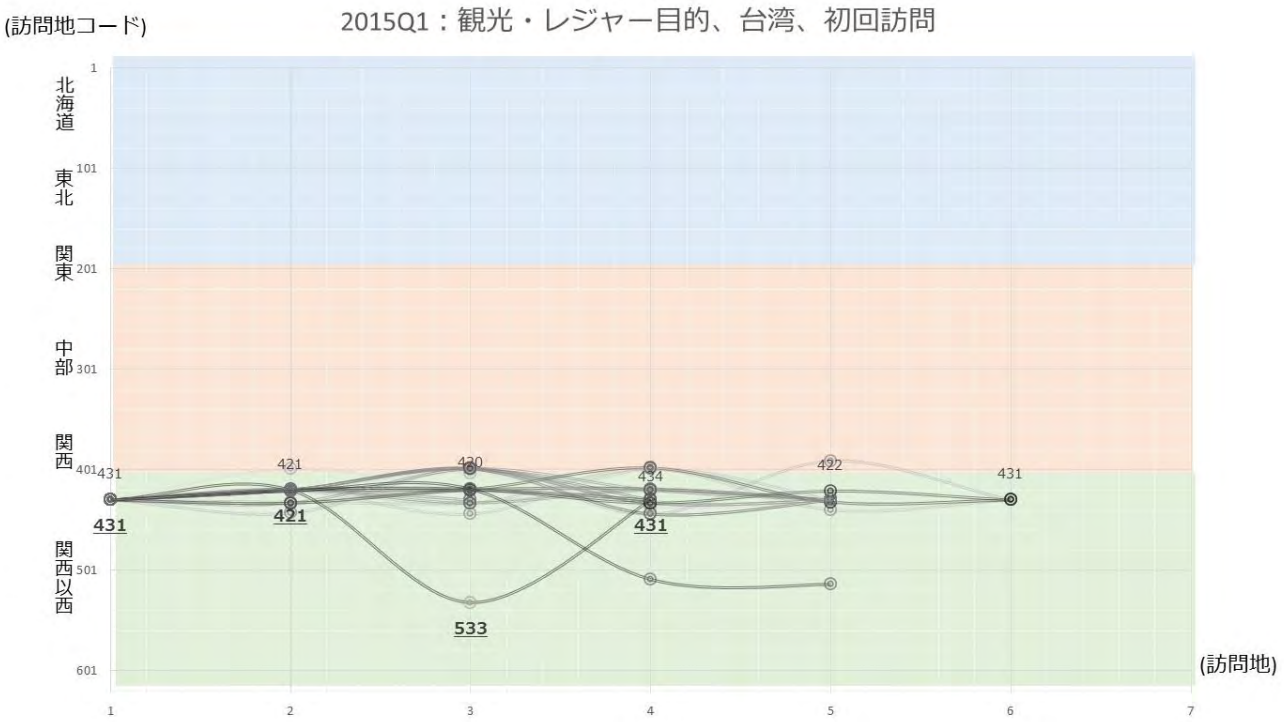
図表 2-2-3 2015Q1:観光･レジャー目的、韓国、初回訪問者



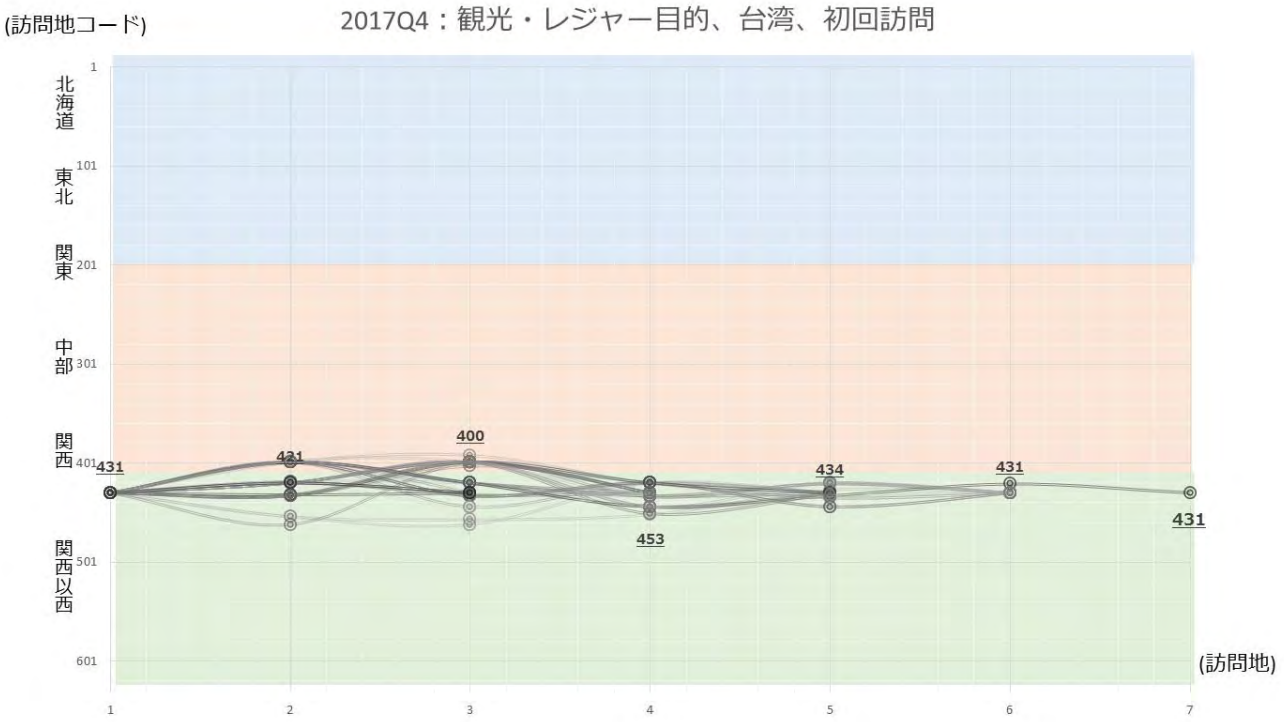
図表 2-2-4 2017Q4:観光･レジャー目的、韓国、初回訪問者



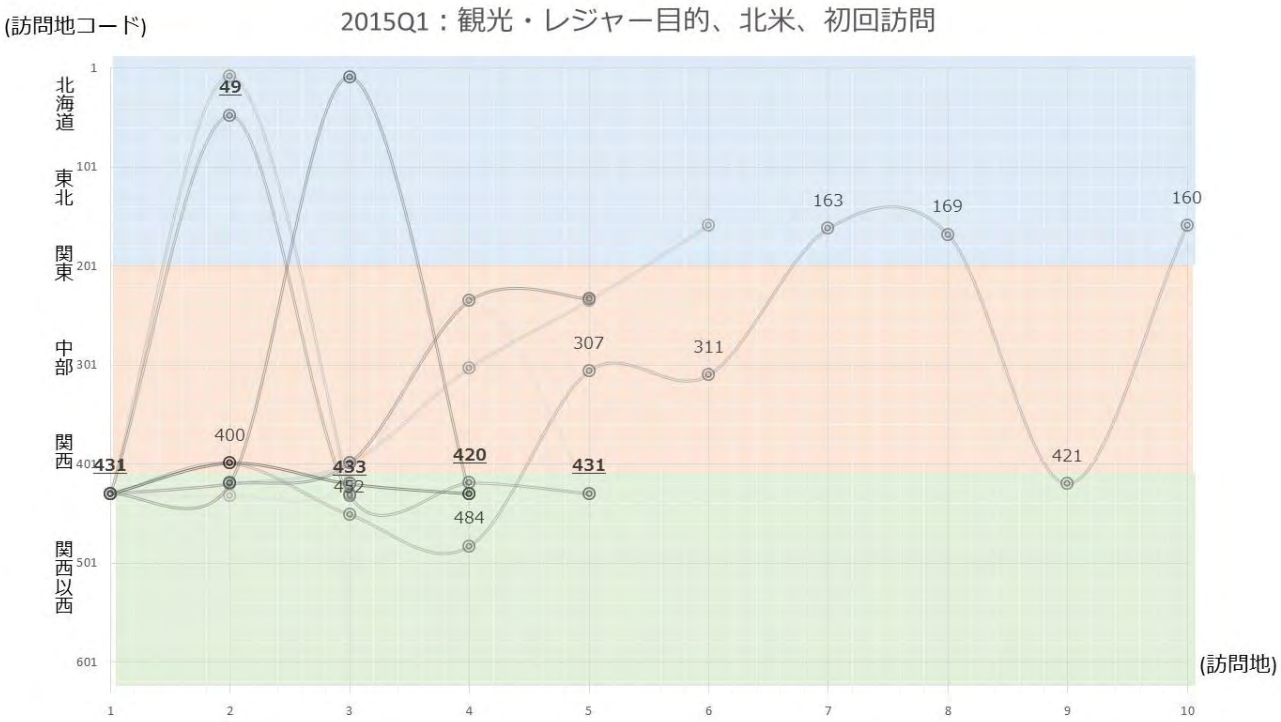
図表 2-2-5 2015Q1:観光･レジャー目的、台湾、初回訪問者



図表 2-2-6 2017Q4:観光･レジャー目的、台湾、初回訪問者

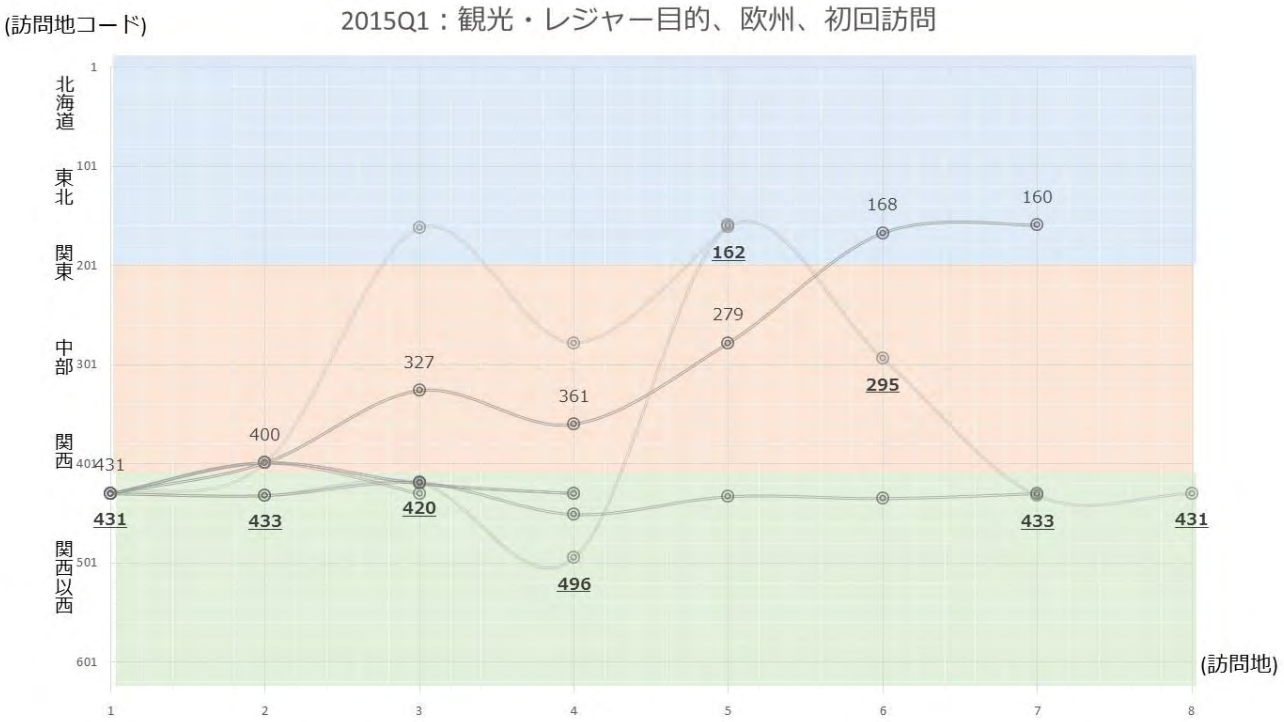


図表 2-2-7 2015Q1:観光･レジャー目的、北米、初回訪問者

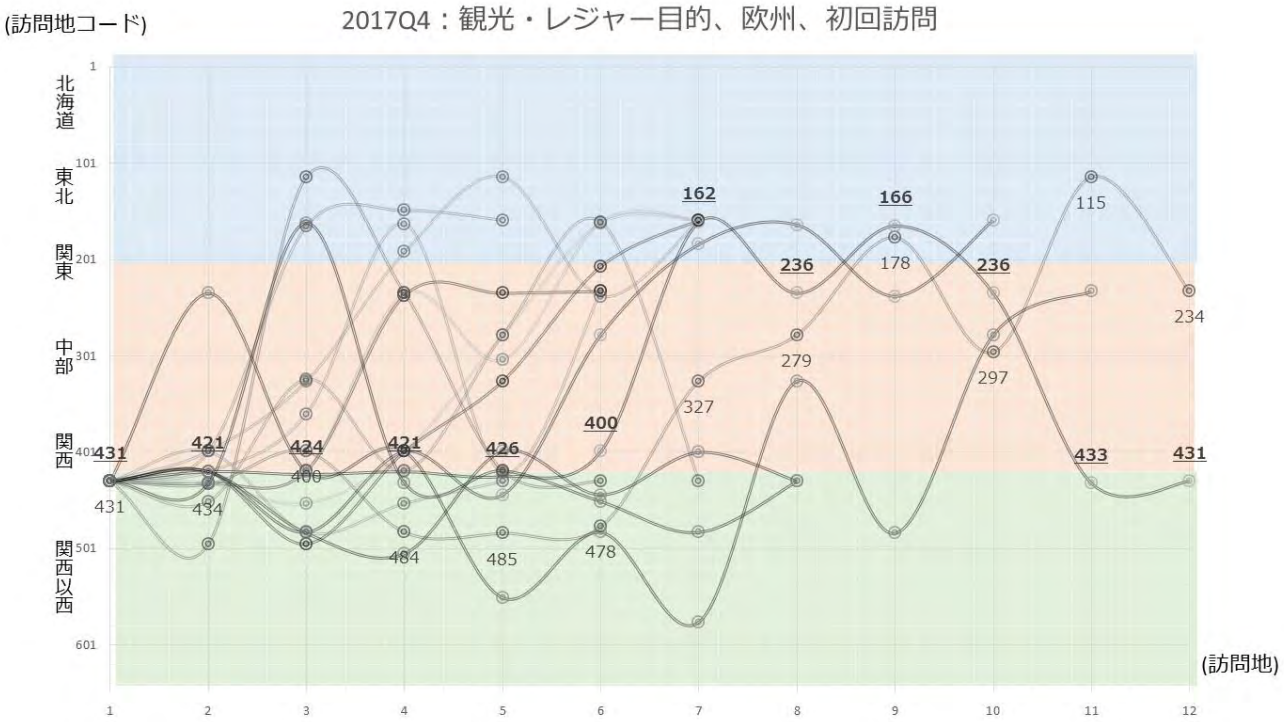


図表 2-2-8 2017Q4:観光･レジャー目的、北米、初回訪問者

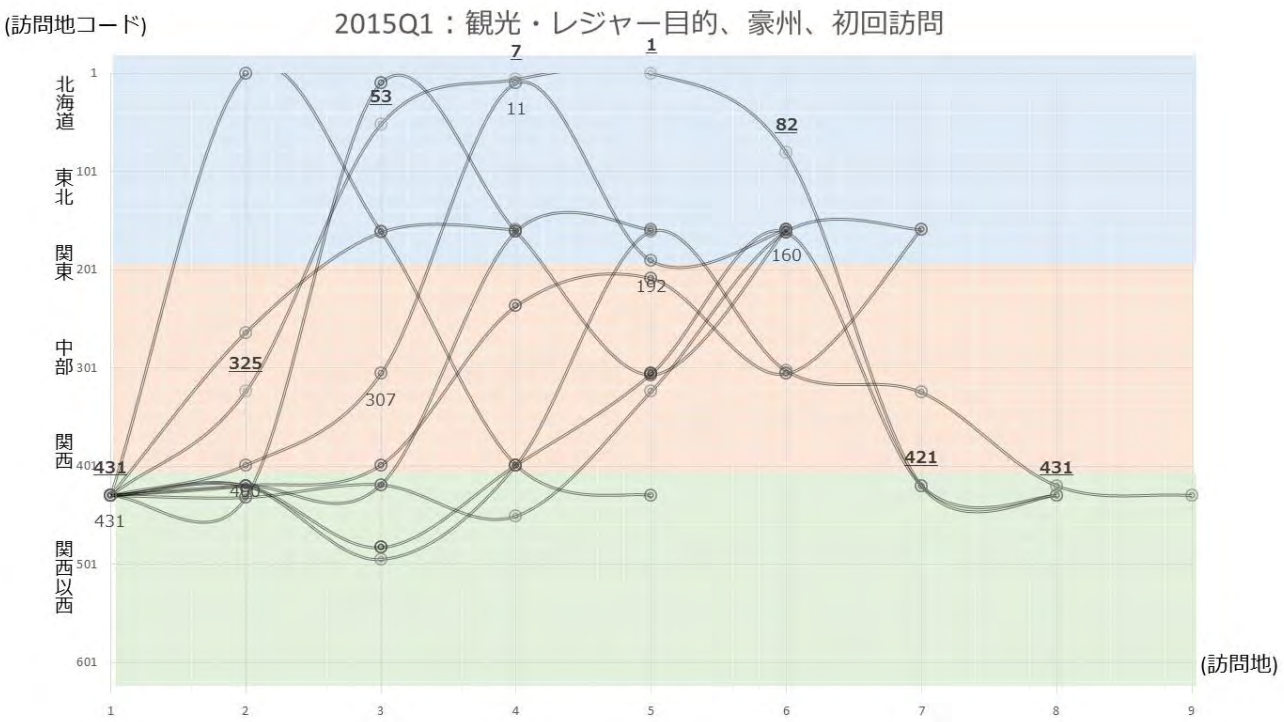
図表 2-2-9 2015Q1:観光･レジャー目的、欧州、初回訪問者



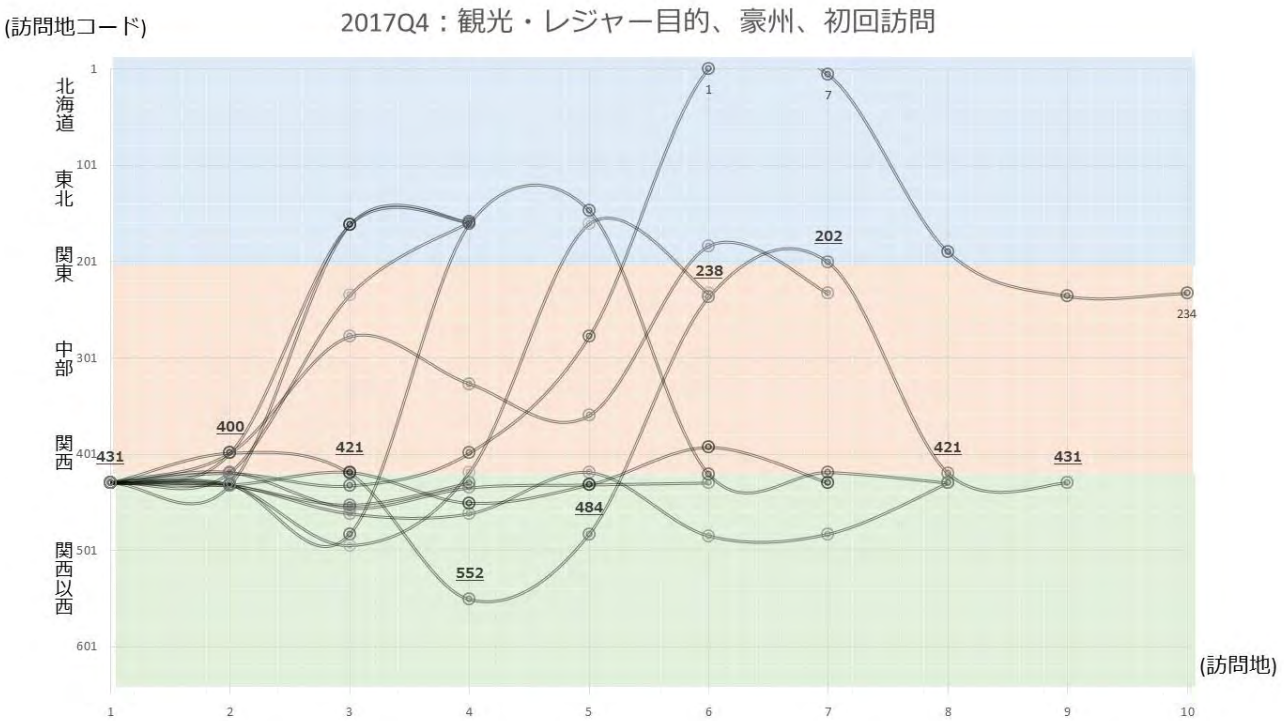
図表 2-2-10 2017Q4:観光･レジャー目的、欧州、初回訪問者



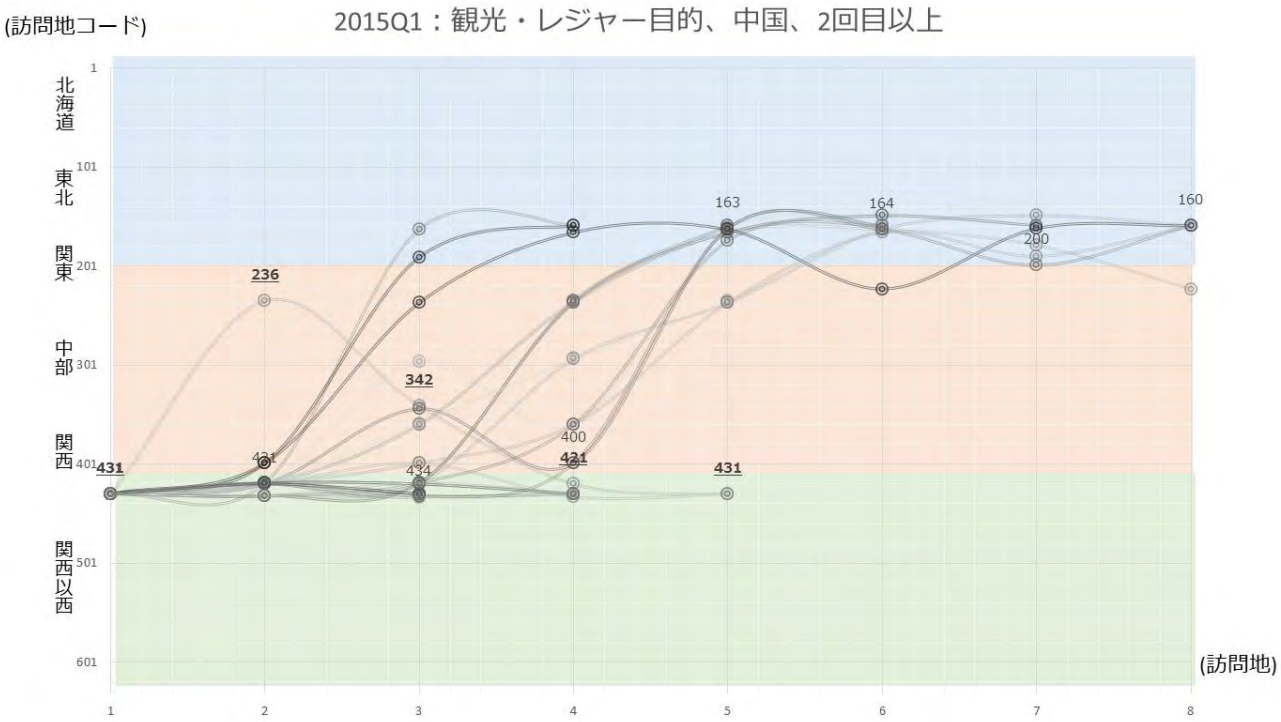
図表 2-2-11 2015Q1:観光･レジャー目的、豪州、初回訪問者



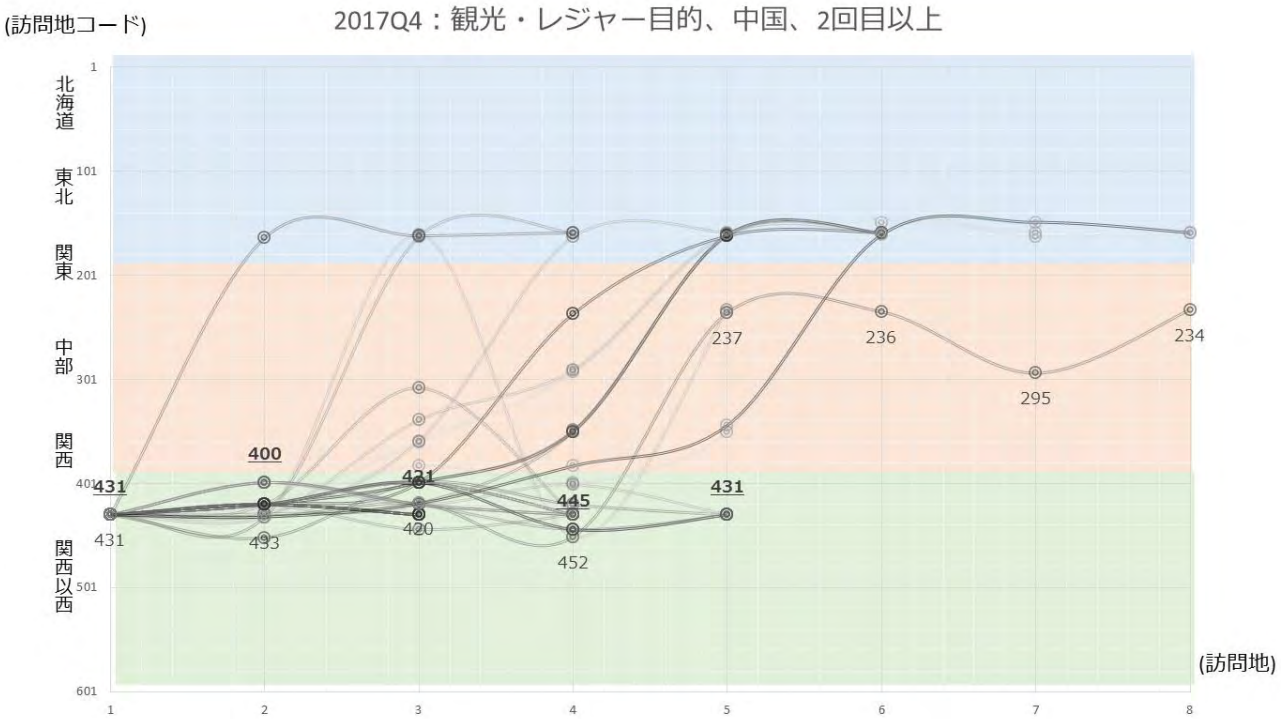
図表 2-2-12 2017Q4:観光･レジャー目的、豪州、初回訪問者



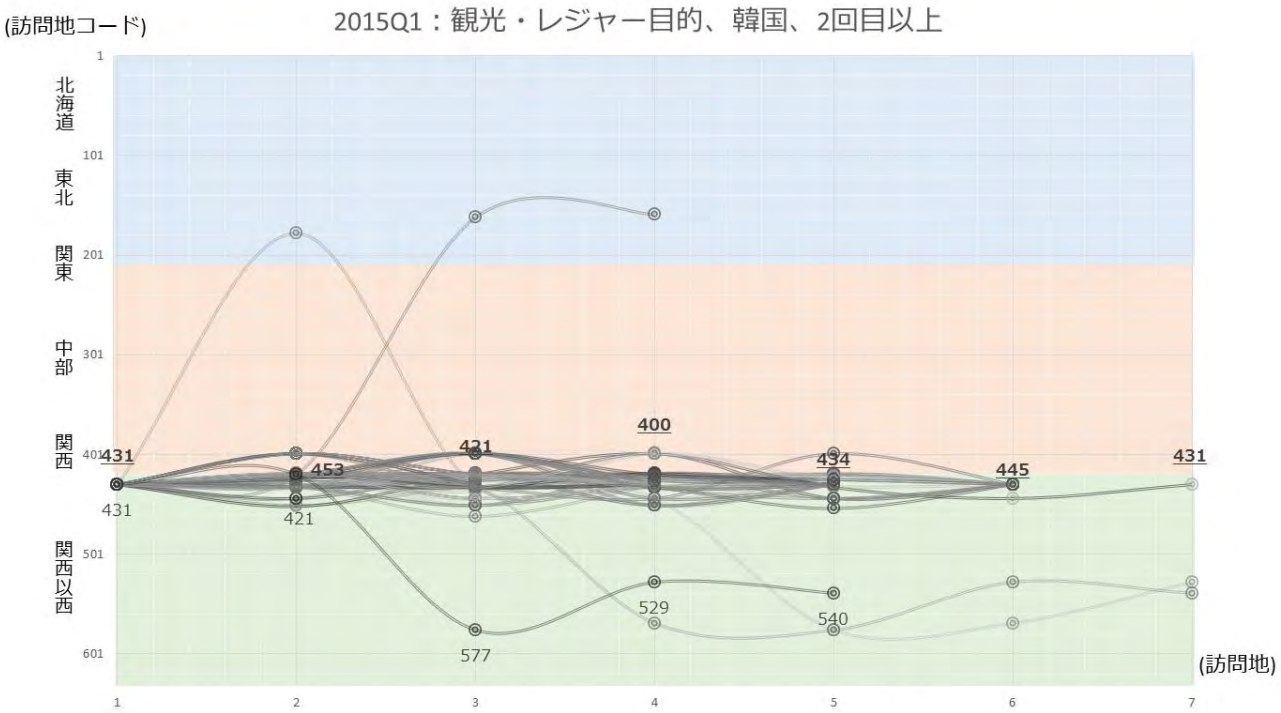
図表 2-2-13 2015Q1:観光･レジャー目的、中国、2 回目以上訪問



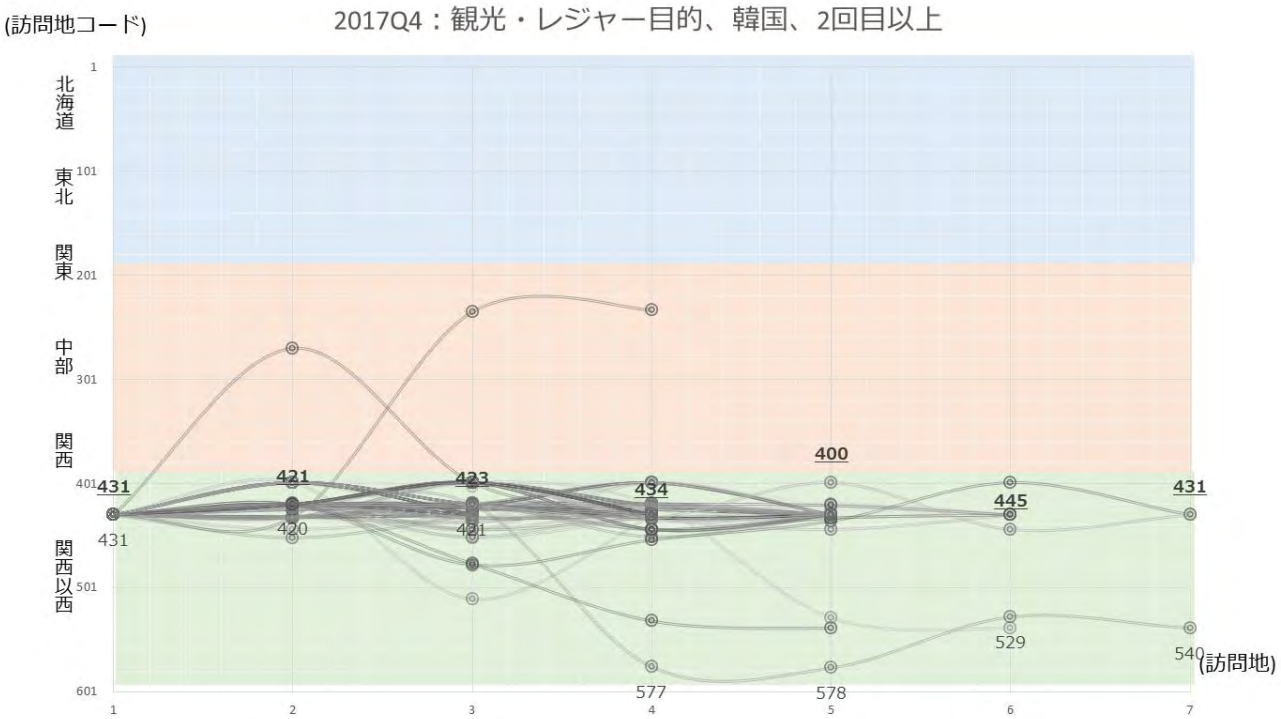
図表 2-2-14 2017Q4:観光･レジャー目的、中国、2 回目以上訪問



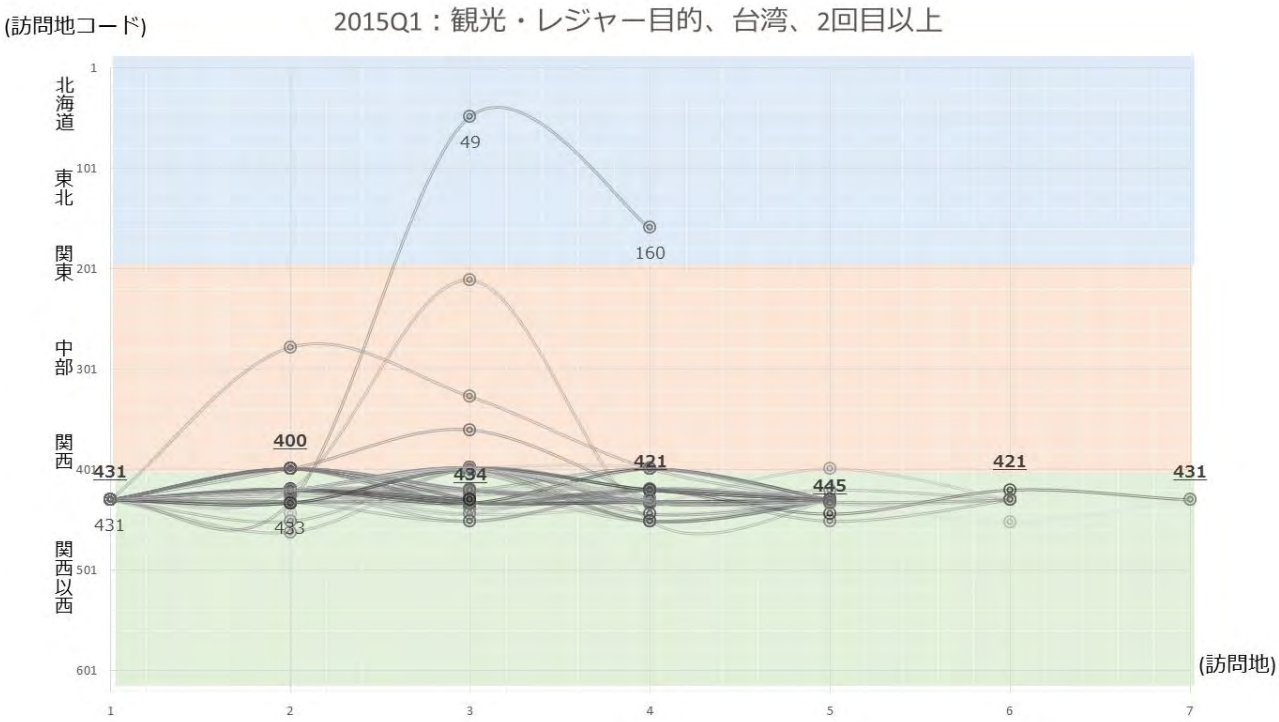
図表 2-2-15 2015Q1:観光･レジャー目的、韓国、2 回目以上訪問



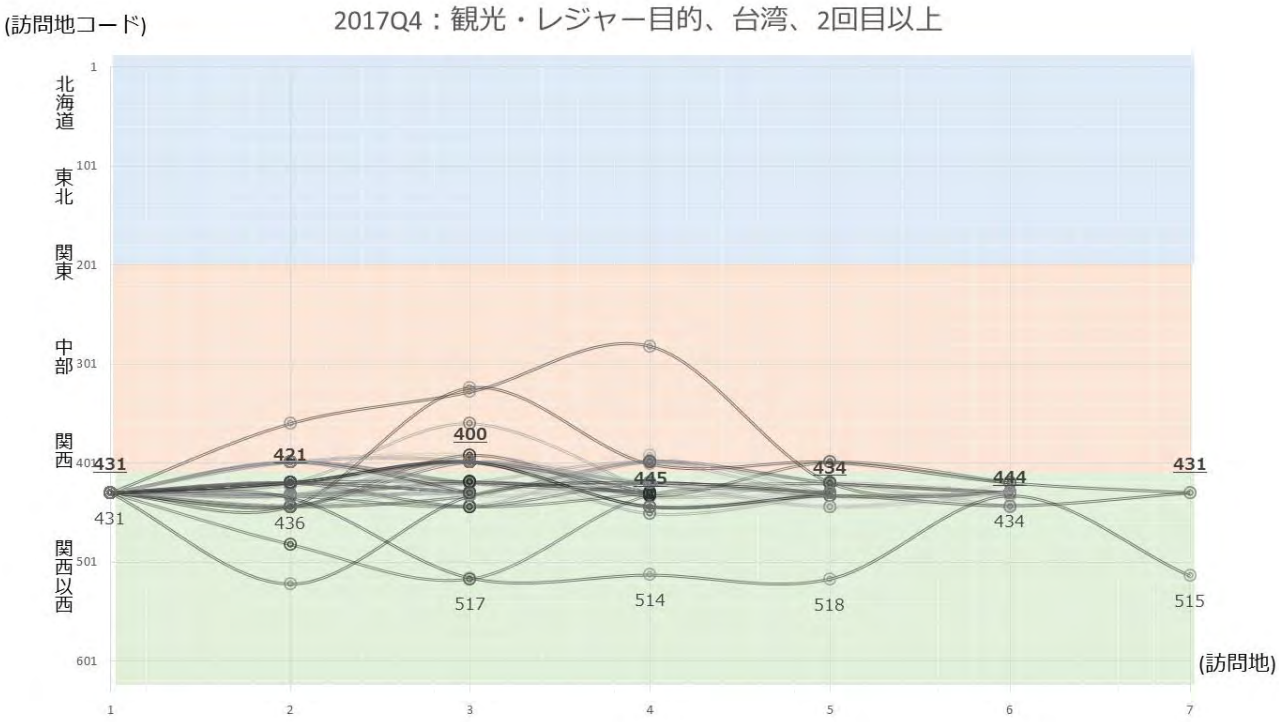
図表 2-2-16 2017Q4:観光･レジャー目的、韓国、2 回目以上訪問



図表 2-2-17 2015Q1:観光･レジャー目的、台湾、2 回目以上訪問

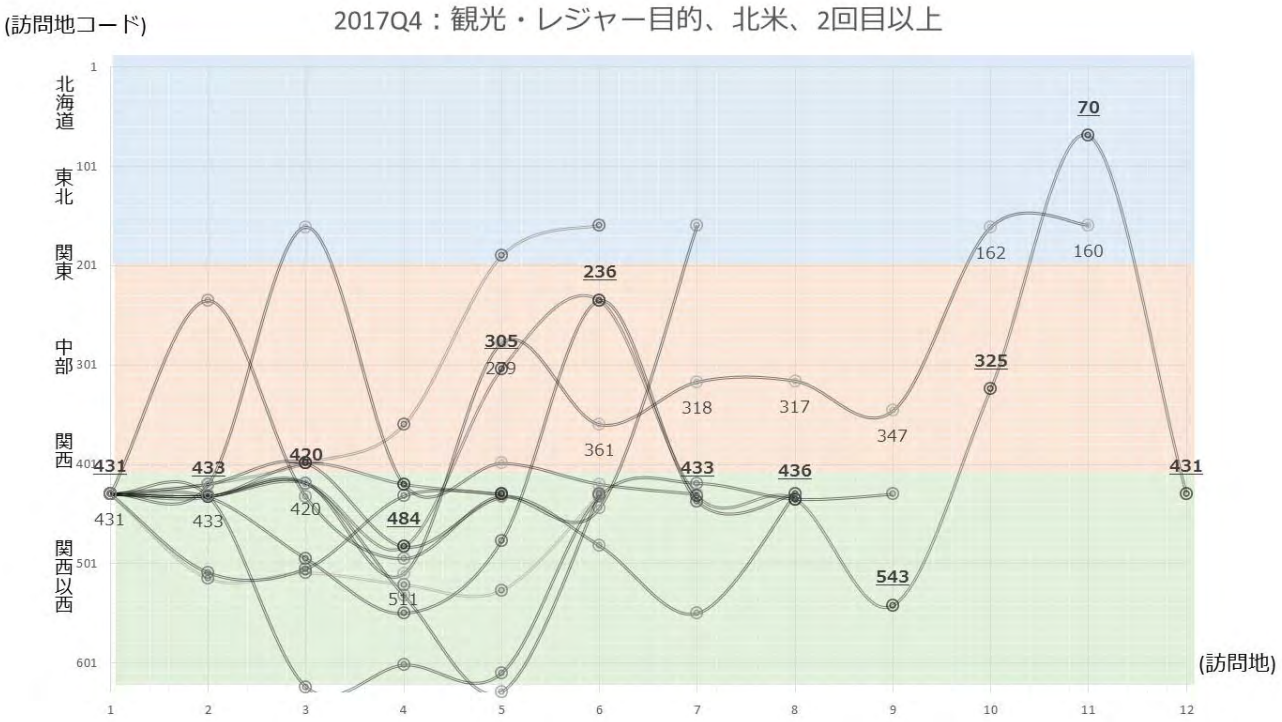


図表 2-2-18 2017Q4:観光･レジャー目的、台湾、2 回目以上訪問

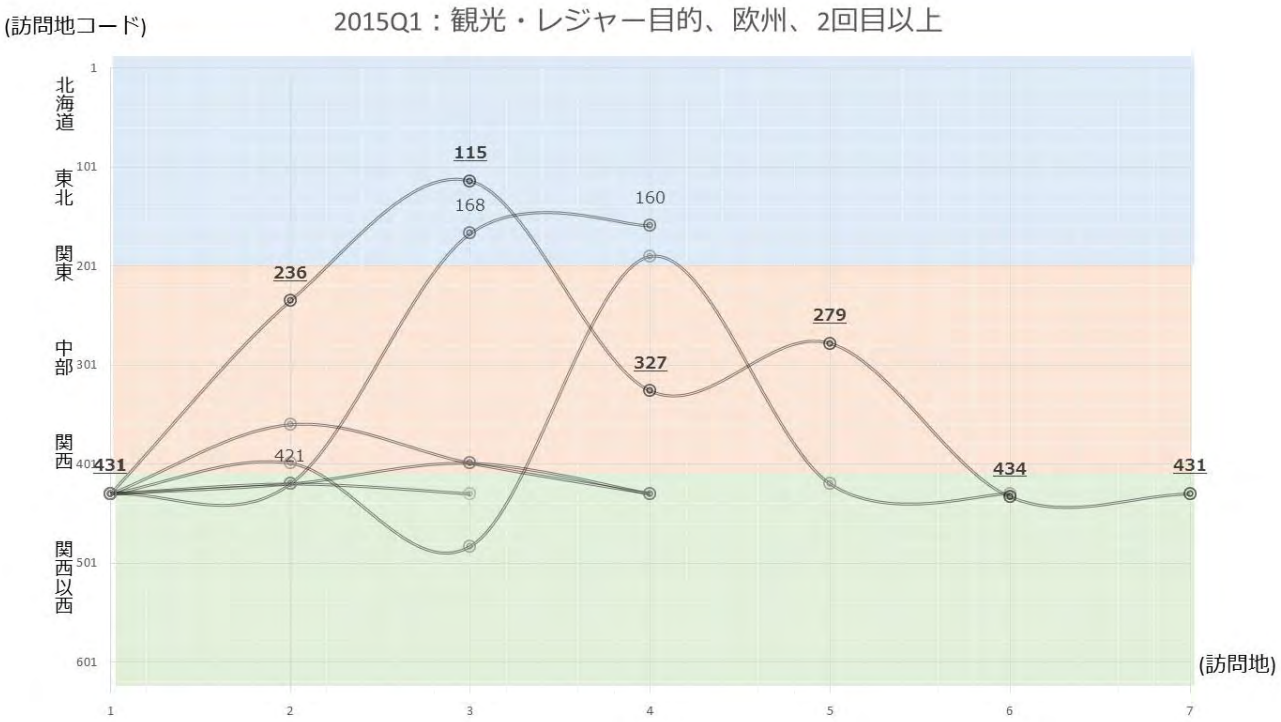


図表 2-2-19 2015Q1:観光･レジャー目的、北米、2 回目以上訪問

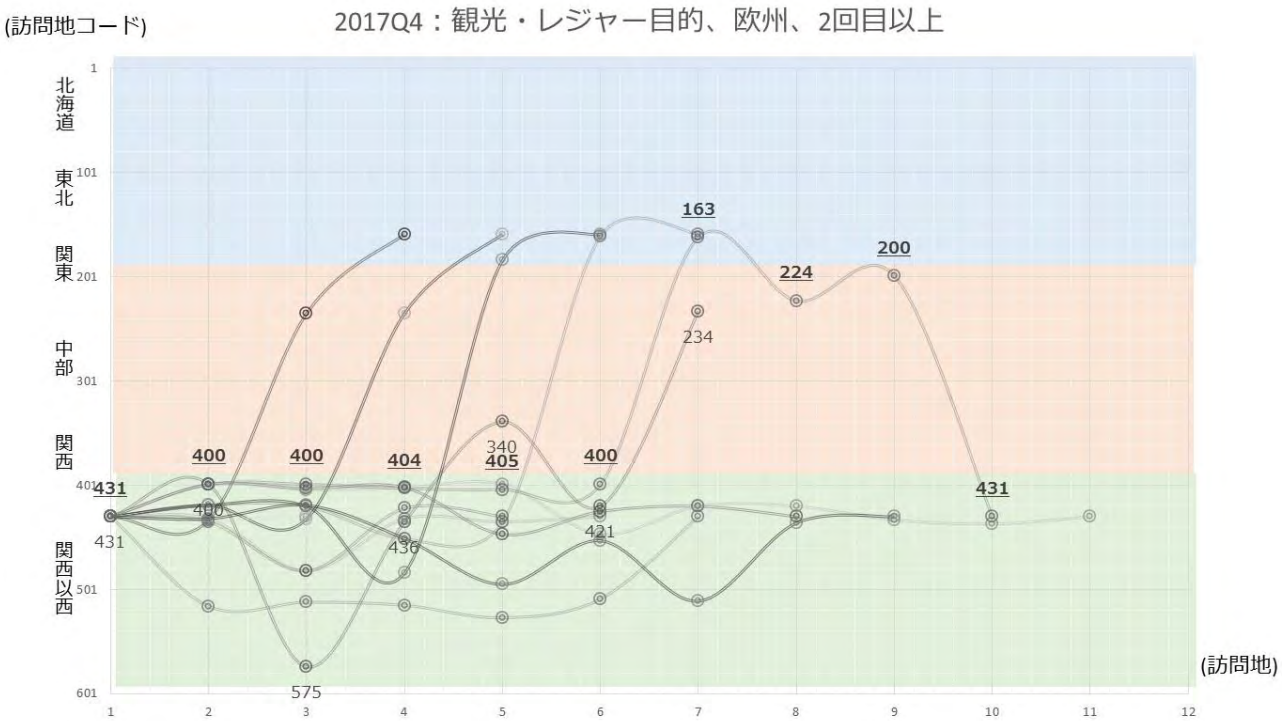
図表 2-2-20 2017Q4:観光･レジャー目的、北米、2 回目以上訪問



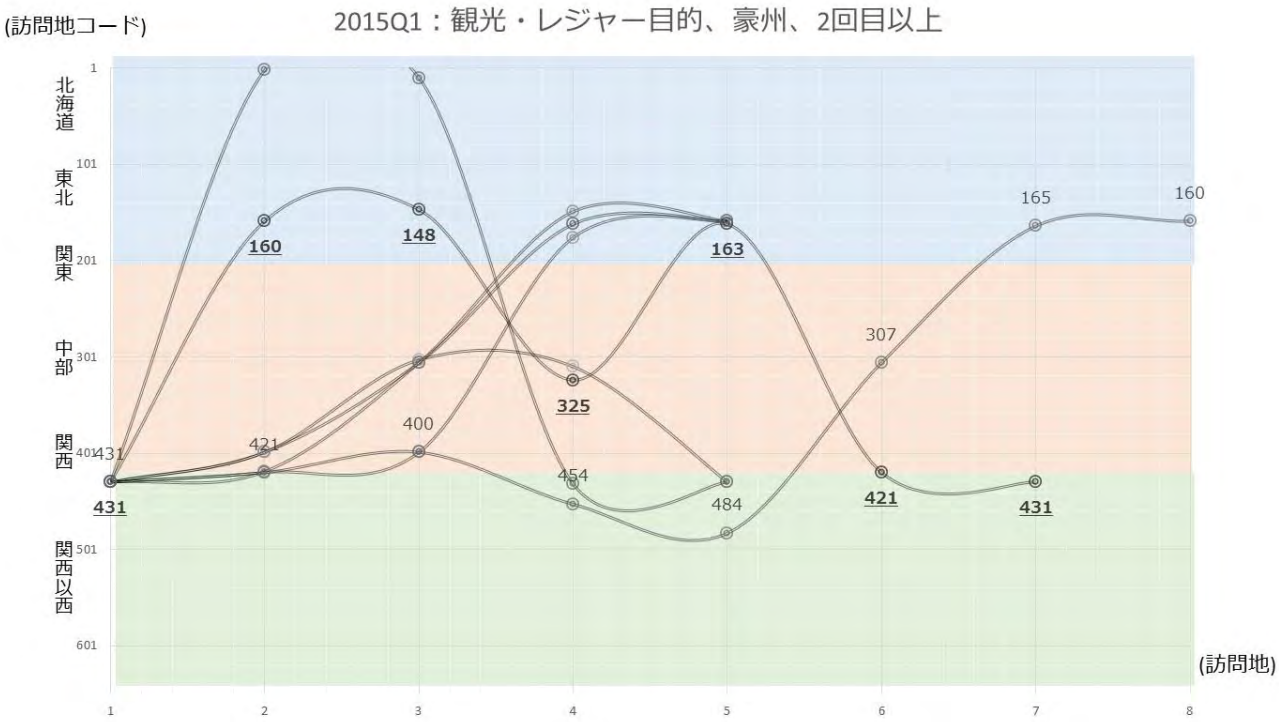
図表 2-2-21 2015Q1:観光･レジャー目的、欧州、2 回目以上訪問



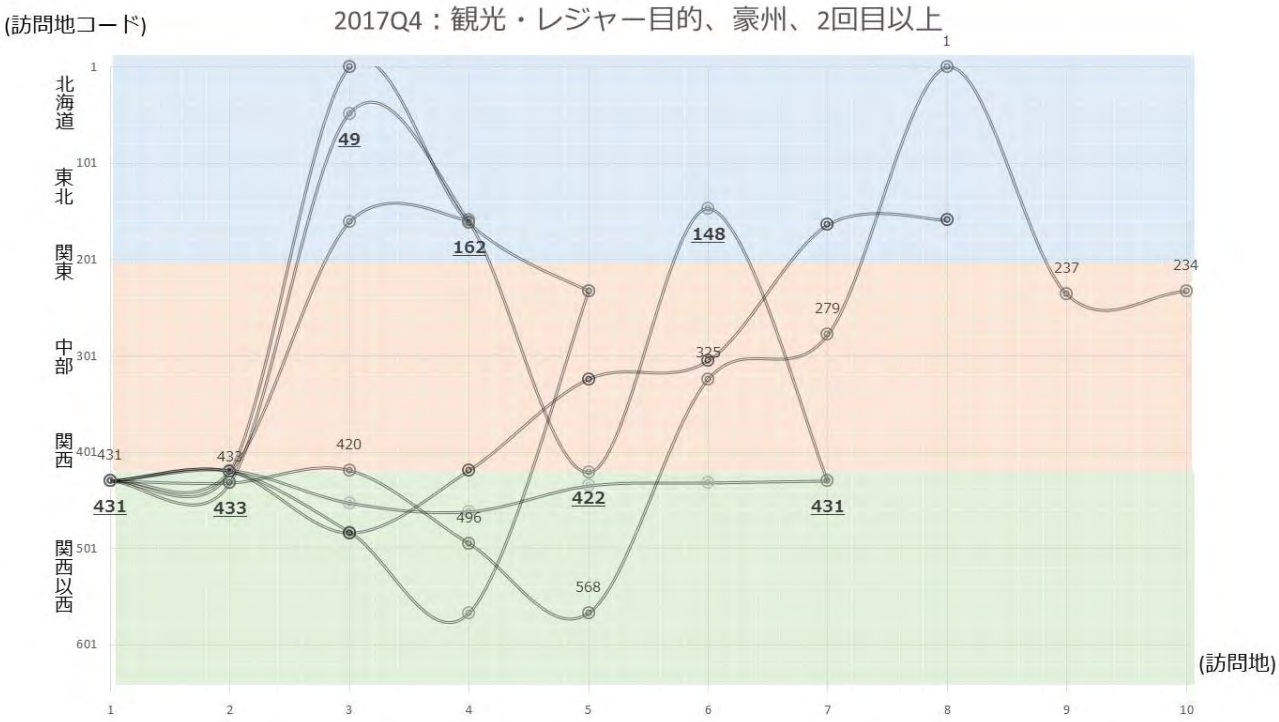
図表 2-2-22 2017Q4:観光･レジャー目的、欧州、2 回目以上訪問



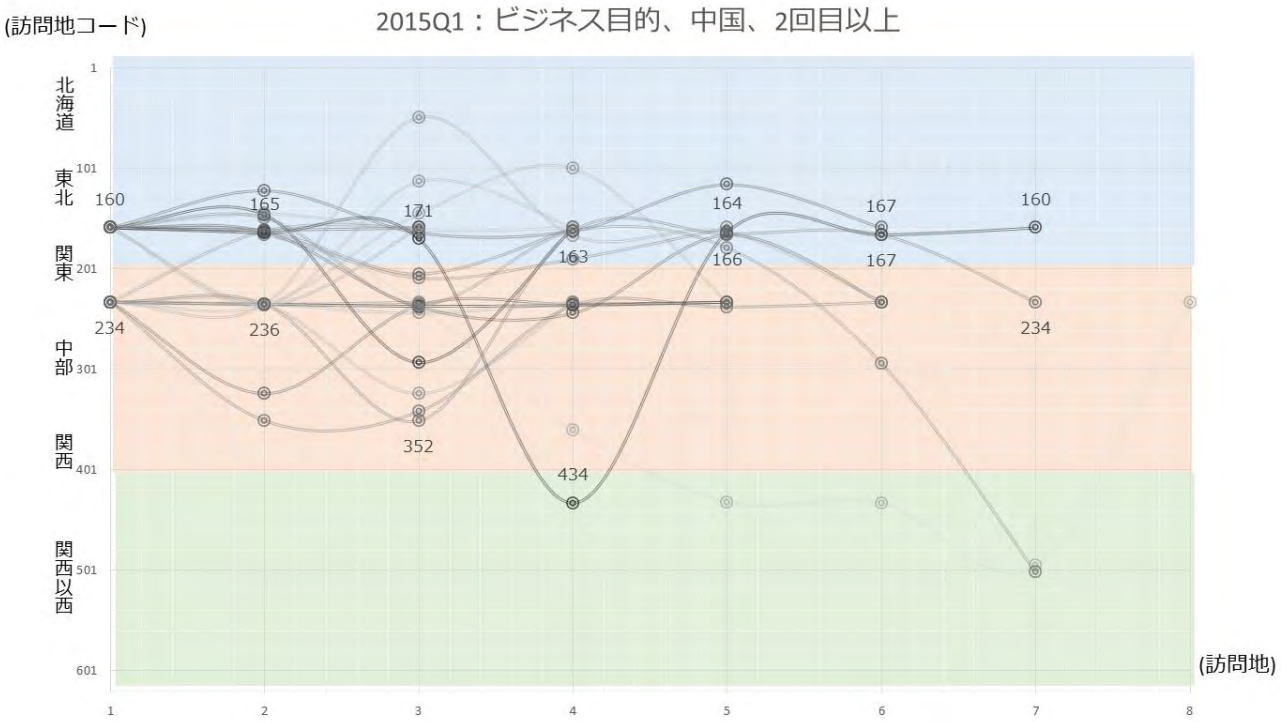
図表 2-2-23 2015Q1:観光･レジャー目的、豪州、2 回目以上訪問



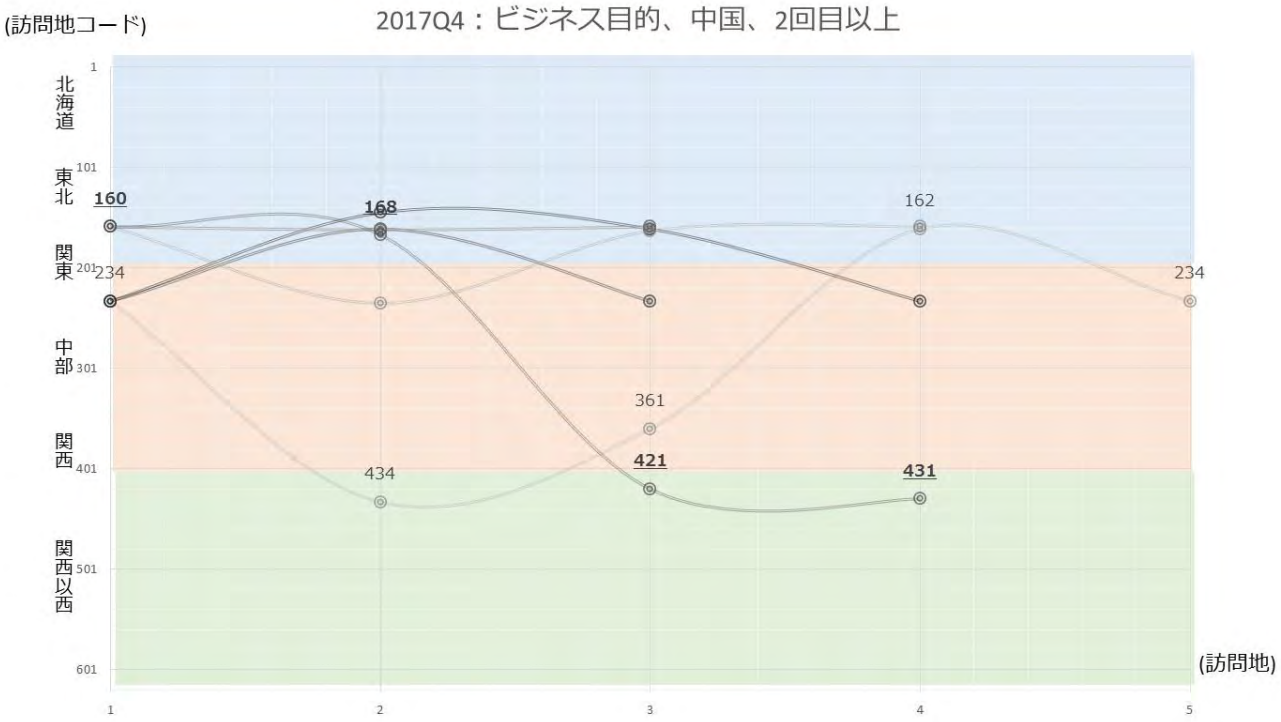
図表 2-2-24 2017Q4:観光･レジャー目的、豪州、2 回目以上訪問



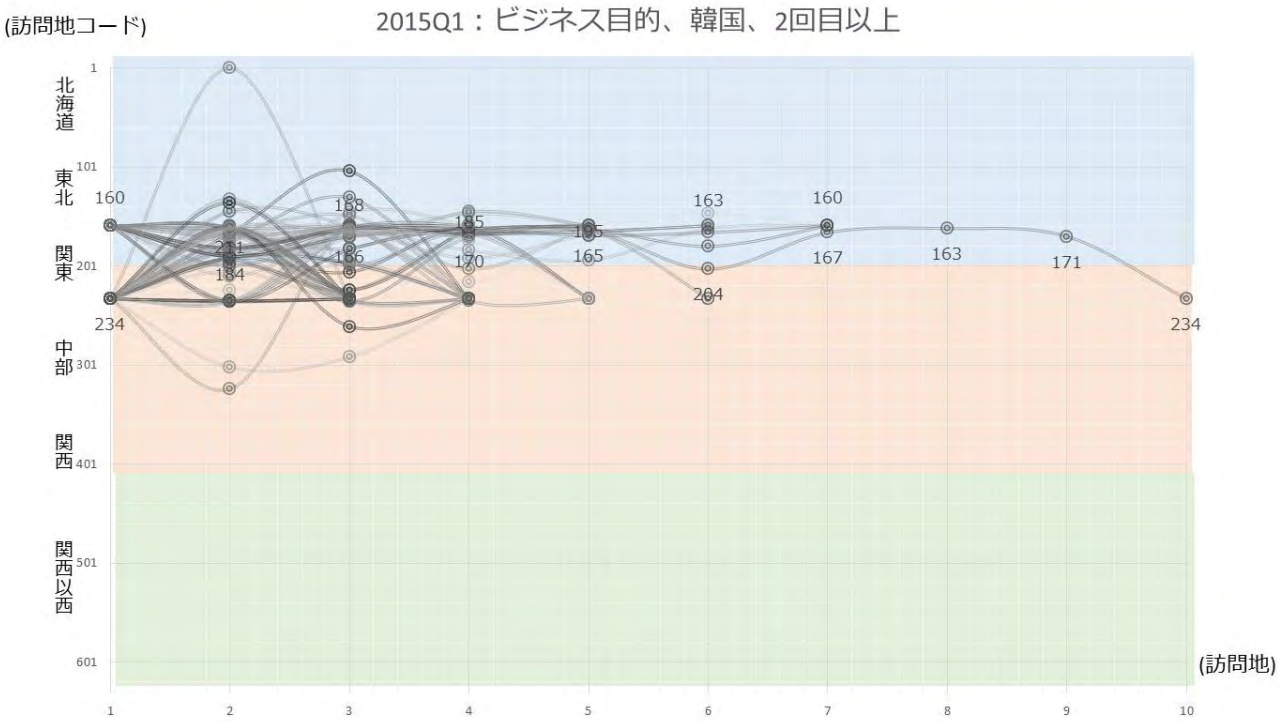
図表 2-2-25 2015Q1:ビジネス目的、中国、2 回目以上訪問



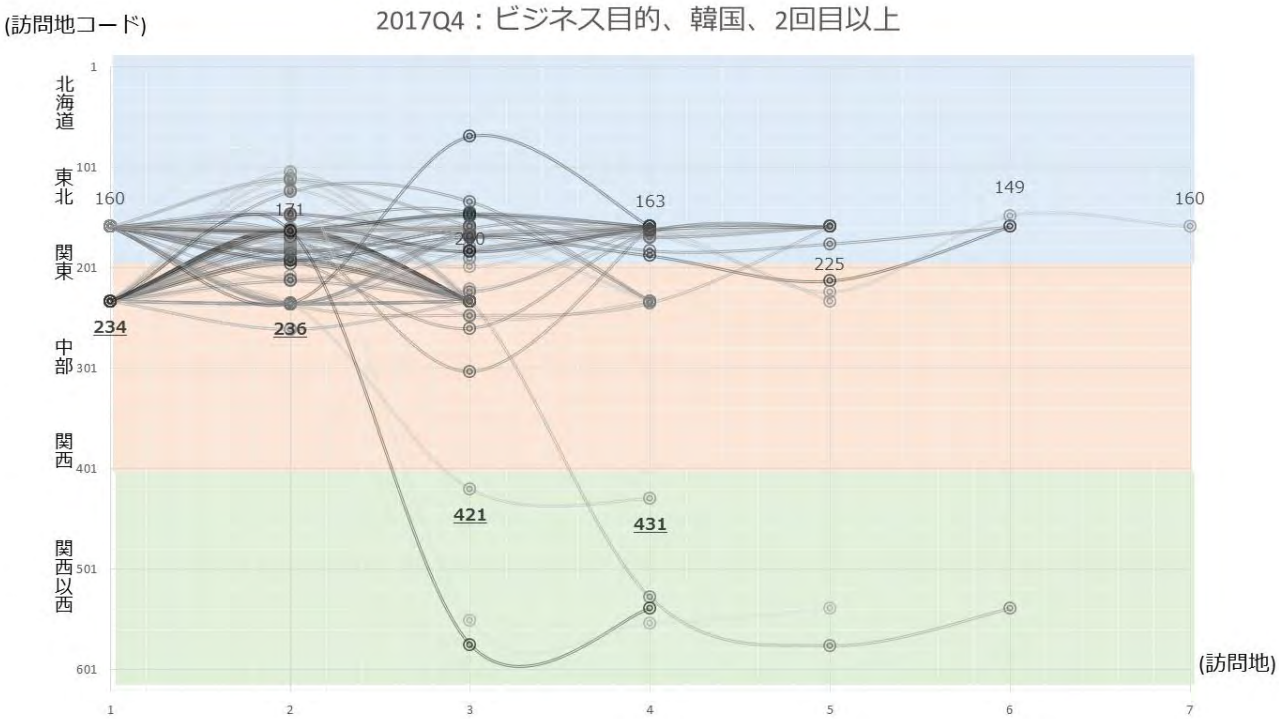
図表 2-2-26 2017Q4:ビジネス目的、中国、2 回目以上訪問



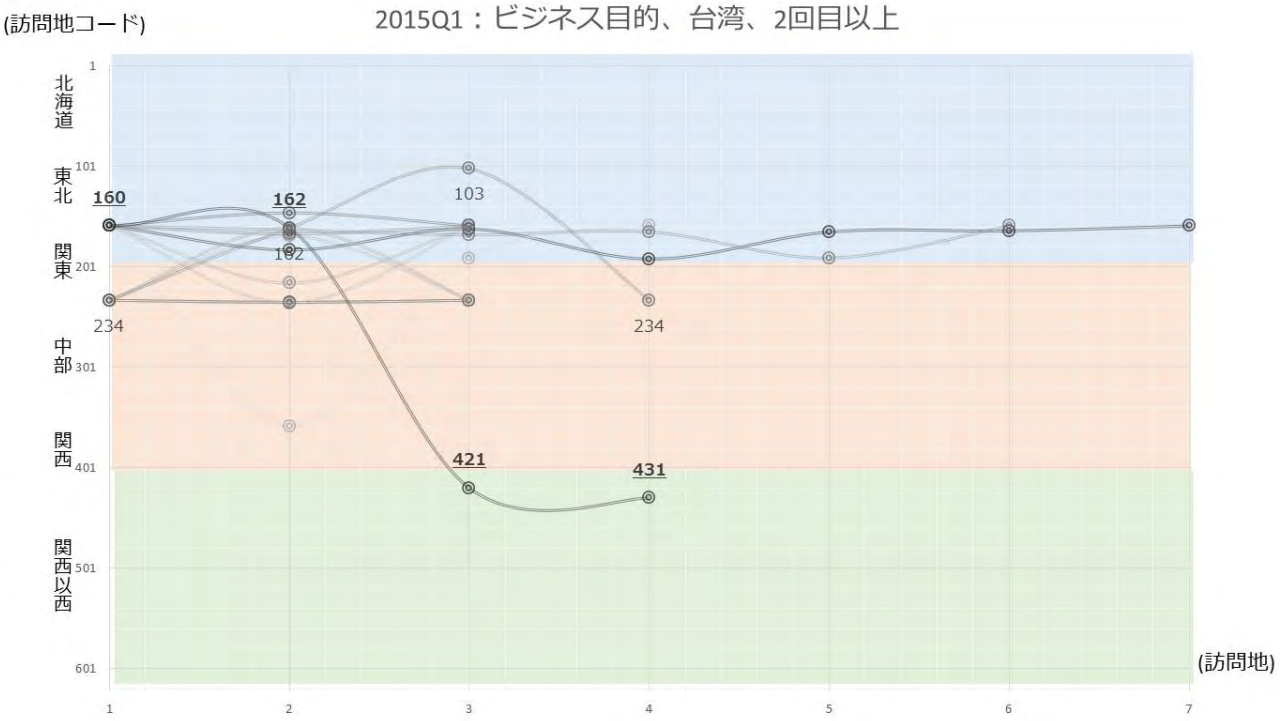
図表 2-2-27 2015Q1:ビジネス目的、韓国、2 回目以上訪問



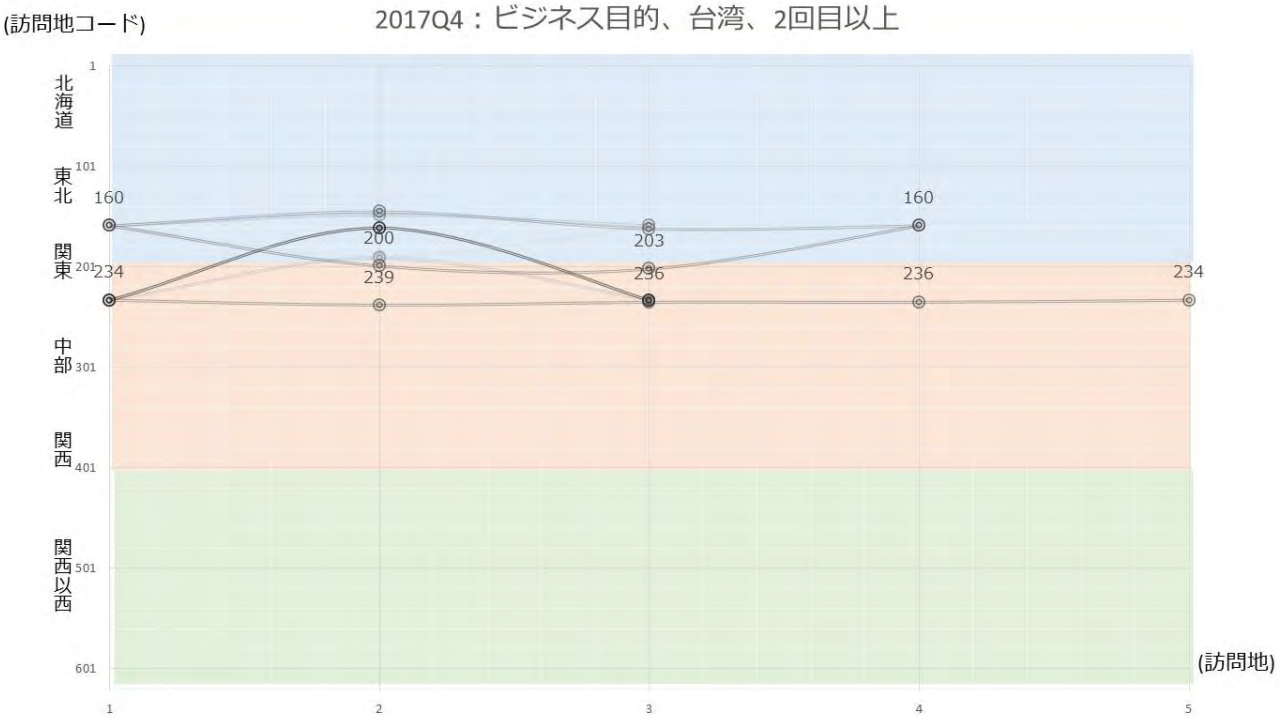
図表 2-2-28 2017Q4 ビジネス目的、韓国、2 回目以上訪問



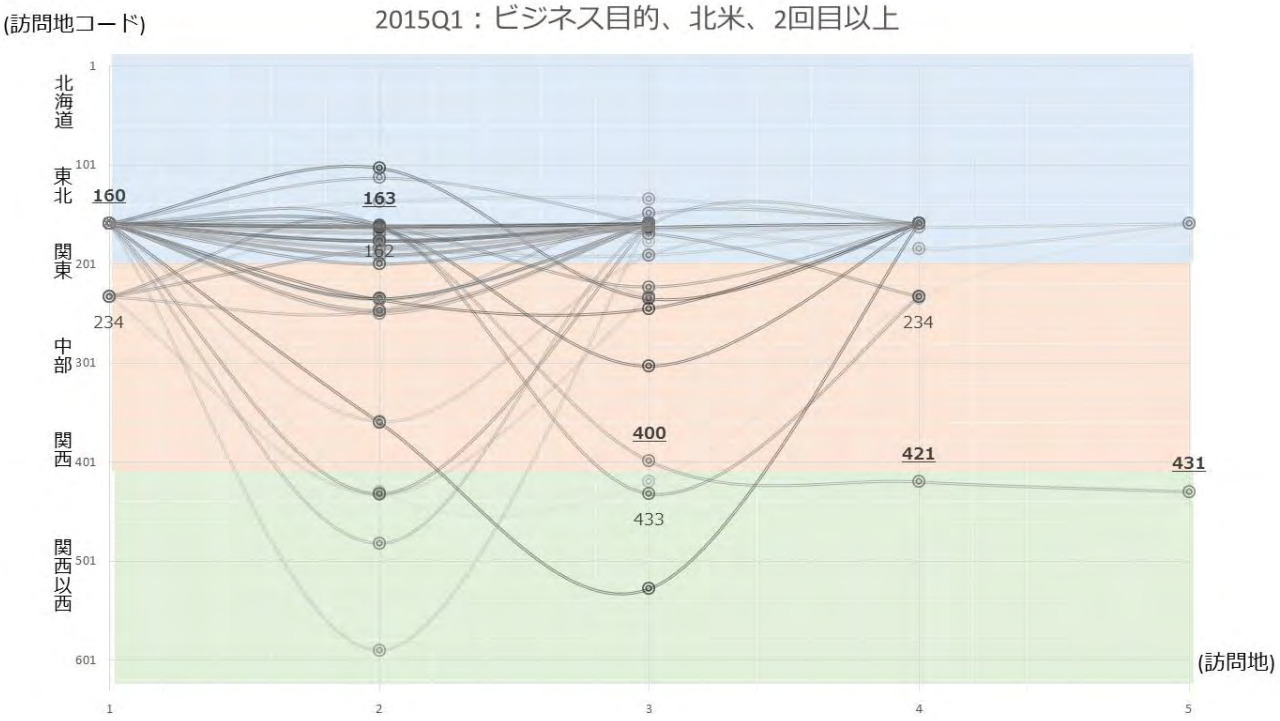
図表 2-2-29 2015Q1 ビジネス目的、台湾、2 回目以上訪問



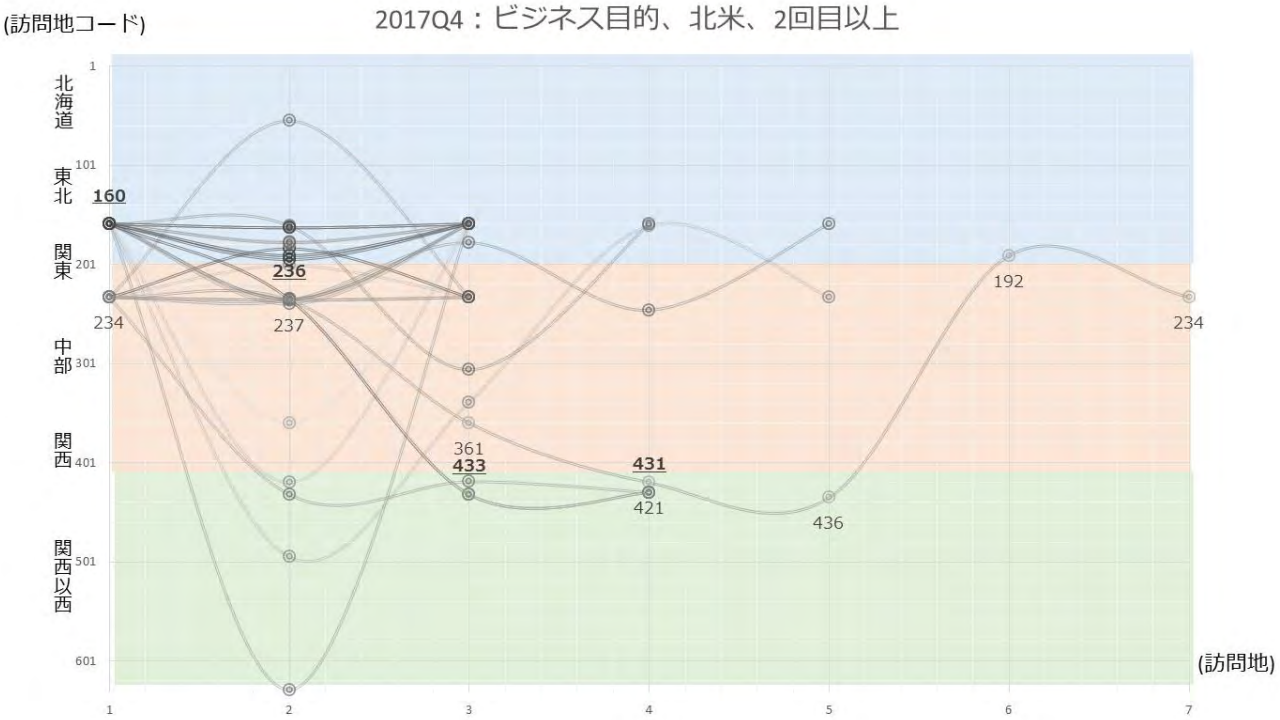
図表 2-2-30 2017Q4 ビジネス目的、台湾、2 回目以上訪問



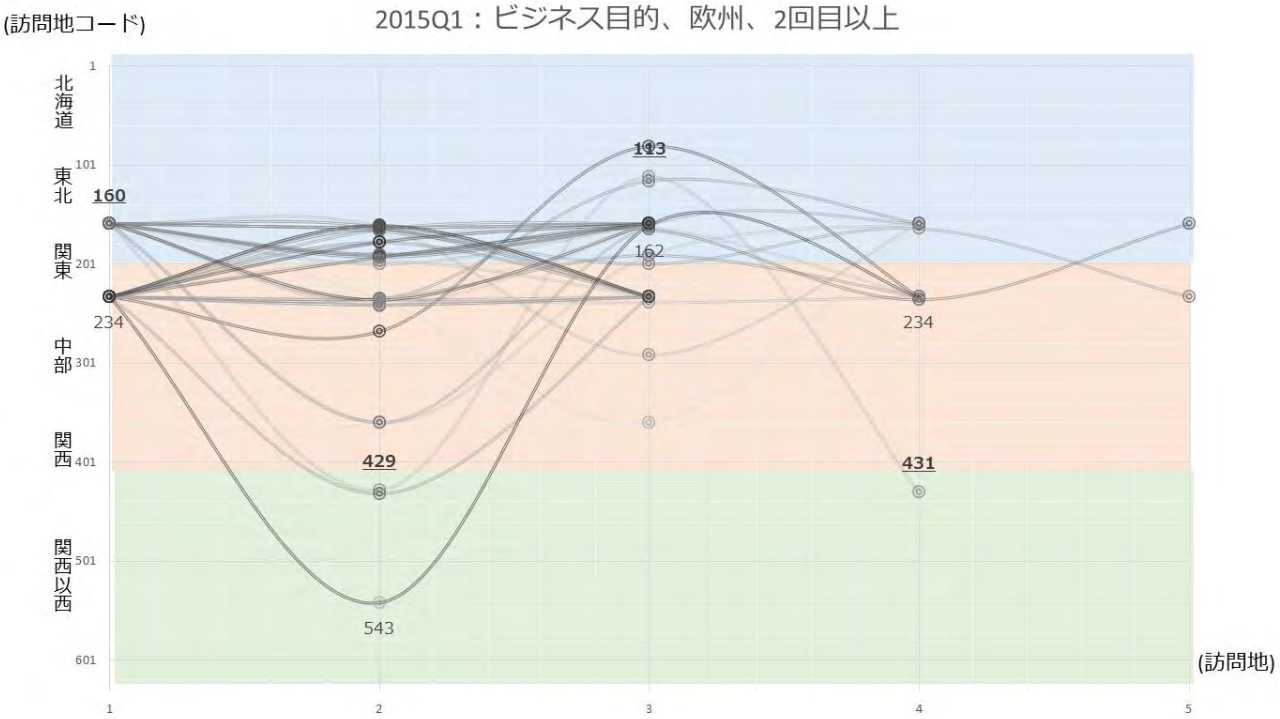
図表 2-2-31 2015Q1 ビジネス目的、北米、2 回目以上訪問



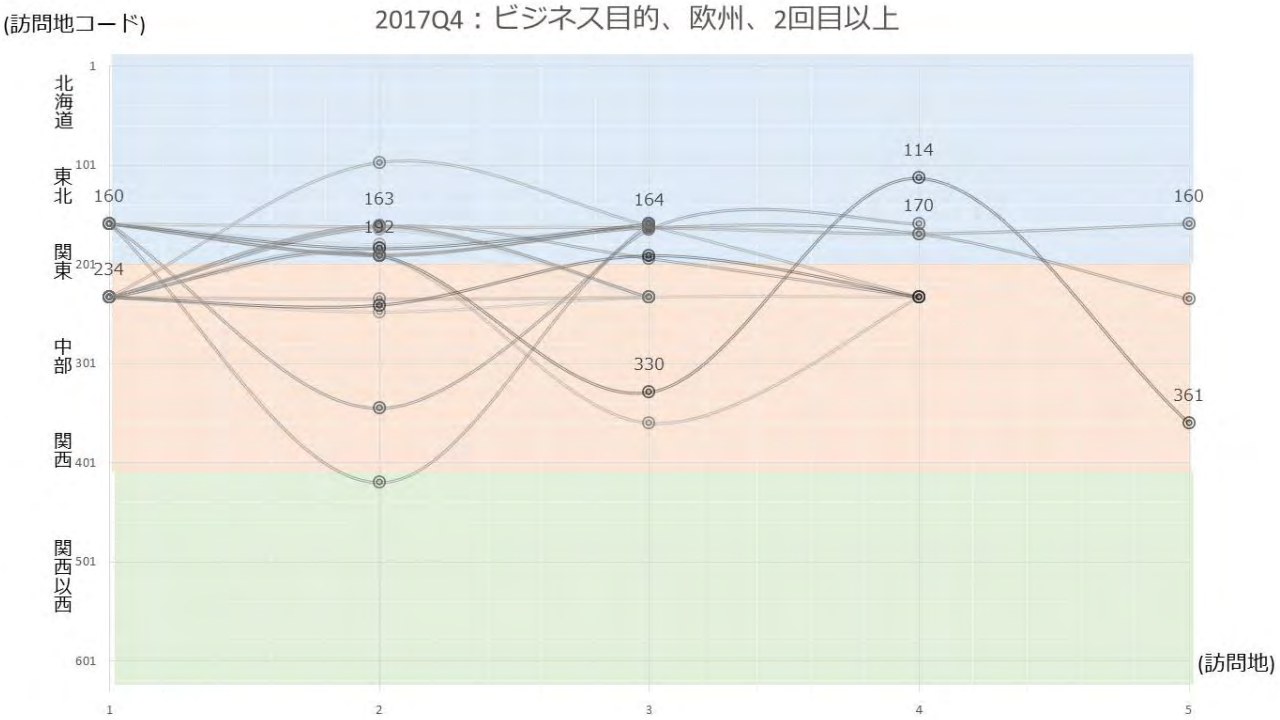
図表 2-2-32 2017Q4 ビジネス目的、北米、2 回目以上訪問



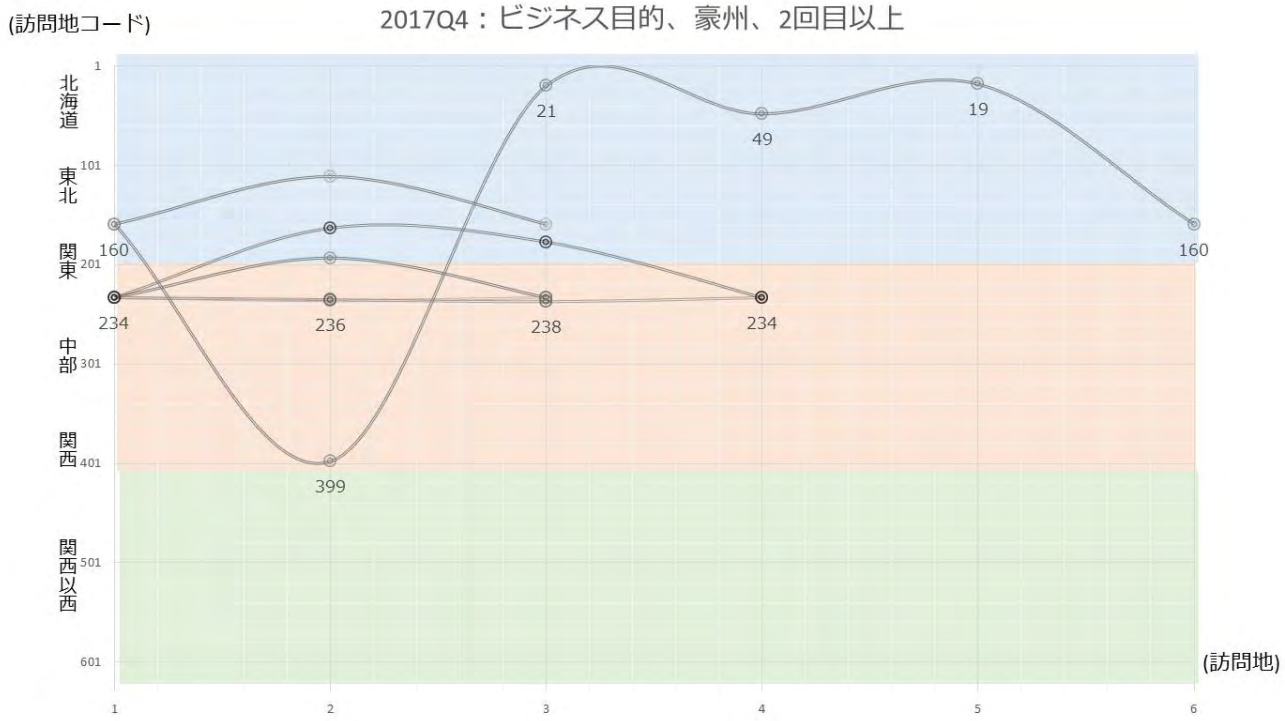
図表 2-2-33 2015Q1 ビジネス目的、欧州、2 回目以上訪問



図表 2-2-34 2017Q4 ビジネス目的、欧州、2 回目以上訪問



図表 2-2-35 2017Q4 ビジネス目的、豪州、2 回目以上訪問



図表 2-2-36 訪問地コード 1

1札幌〔北海道〕	46帯広空港〔北海道〕	91山形(県)	136川越〔埼玉県〕	181有楽町〔東京都〕
2定山渓〔北海道〕	47小樽港〔北海道〕	92福島市〔福島県〕	137川口〔埼玉県〕	182日比谷〔東京都〕
3小樽〔北海道〕	48稚内港〔北海道〕	93磐梯〔福島県〕	138熊谷〔埼玉県〕	183有明〔東京都〕
4登別〔北海道〕	49北海道	94会津〔福島県〕	139上尾〔埼玉県〕	184東京タワー〔東京都〕
5富良野〔北海道〕	50青森市〔青森県〕	95五色沼〔福島県〕	140和光〔埼玉県〕	185赤坂〔東京都〕
6洞爺〔北海道〕	51十和田〔青森県〕	96喜多方〔福島県〕	141所沢〔埼玉県〕	186麻布〔東京都〕
7函館〔北海道〕	52白神山地〔青森県〕	97いわき〔福島県〕	142秩父〔埼玉県〕	187大久保〔東京都〕
8支笏〔北海道〕	53弘前〔青森県〕	98郡山〔福島県〕	143春日部〔埼玉県〕	188明治神宮〔東京都〕
9旭川〔北海道〕	54下北半島〔青森県〕	99猪苗代〔福島県〕	144大宮鉄道博物館〔埼玉県〕	189表参道〔東京都〕
10大雪山〔北海道〕	55奥入瀬〔青森県〕	100福島空港〔福島県〕	145さいたま市大宮盆栽美術館〔埼玉県〕	190青山〔東京都〕
11ニセコ〔北海道〕	56三沢〔青森県〕	101福島(県)	146埼玉(県)	191池袋〔東京都〕
12帯広〔北海道〕	57八戸〔青森県〕	102つくば〔茨城県〕	147千葉市〔千葉県〕	192品川〔東京都〕
13網走〔北海道〕	58青森空港〔青森県〕	103水戸〔茨城県〕	148東京ディズニーリゾート(ランド/シー)〔千葉県〕	193新橋〔東京都〕
14阿寒〔北海道〕	59青森(県)	104土浦〔茨城県〕	149幕張〔千葉県〕	194立川〔東京都〕
15釧路〔北海道〕	60盛岡〔岩手県〕	105日立〔茨城県〕	150成田〔千葉県〕	195八王子〔東京都〕
16大沼〔北海道〕	61平泉〔岩手県〕	106鹿島〔茨城県〕	151浦安〔千葉県〕	196横田〔東京都〕
17知床〔北海道〕	62花巻〔岩手県〕	107大洗〔茨城県〕	152柏〔千葉県〕	197福生〔東京都〕
18ルスツ〔北海道〕	63安比〔岩手県〕	108阿見〔茨城県〕	153舞浜〔千葉県〕	198羽田〔東京都〕
19千歳〔北海道〕	64釜石〔岩手県〕	109牛久〔茨城県〕	154市川〔千葉県〕	199田町〔東京都〕
20夕張〔北海道〕	65浄土ヶ浜〔岩手県〕	110偕楽園〔茨城県〕	155船橋〔千葉県〕	200築地〔東京都〕
21苫小牧〔北海道〕	66八幡平〔岩手県〕	111茨城空港〔茨城県〕	156松戸〔千葉県〕	201汐留〔東京都〕
22美瑛〔北海道〕	67中尊寺〔岩手県〕	112茨城(県)	157木更津〔千葉県〕	202恵比寿〔東京都〕
23層雲峡〔北海道〕	68花巻空港〔岩手県〕	113栃木市〔栃木県〕	158館山〔千葉県〕	203目黒〔東京都〕
24トマム〔北海道〕	69岩手(県)	114宇都宮〔栃木県〕	159新勝寺(成田山)〔千葉県〕	204三鷹〔東京都〕
25サホロ〔北海道〕	70仙台〔宮城県〕	115日光〔栃木県〕	160成田空港〔千葉県〕	205吉祥寺〔東京都〕
26十勝・池田町〔北海道〕	71松島〔宮城県〕	116鬼怒川〔栃木県〕	161千葉(県)	206中野〔東京都〕
27摩周・屈斜路〔北海道〕	72石巻〔宮城県〕	117那須〔栃木県〕	162東京〔東京都〕	207神田〔東京都〕
28稚内〔北海道〕	73気仙沼〔宮城県〕	118小山〔栃木県〕	163新宿〔東京都〕	208御茶ノ水〔東京都〕
29北広島〔北海道〕	74瑞巌寺〔宮城県〕	119足利〔栃木県〕	164銀座〔東京都〕	209蒲田〔東京都〕
30北見〔北海道〕	75仙台空港〔宮城県〕	120佐野〔栃木県〕	165浅草〔東京都〕	210両国〔東京都〕
31湯の川〔北海道〕	76宮城(県)	121東照宮(日光)〔栃木県〕	166渋谷〔東京都〕	211日暮里〔東京都〕
32歌登〔北海道〕	77秋田市〔秋田県〕	122江戸村〔栃木県〕	167秋葉原〔東京都〕	212神楽坂〔東京都〕
33川湯〔北海道〕	78角館〔秋田県〕	123栃木(県)	168上野〔東京都〕	213押上〔東京都〕
34利尻〔北海道〕	79田沢湖〔秋田県〕	124前橋〔群馬県〕	169原宿〔東京都〕	214新大久保〔東京都〕
35礼文〔北海道〕	80乳頭〔秋田県〕	125高崎〔群馬県〕	170六本木〔東京都〕	215目由が丘〔東京都〕
36サロベツ〔北海道〕	81秋田空港〔秋田県〕	126草津〔群馬県〕	171台台場〔東京都〕	216下北沢〔東京都〕
37釧路湿原〔北海道〕	82秋田(県)	127水上〔群馬県〕	172高尾山〔東京都〕	217代官山〔東京都〕
38様似岬〔北海道〕	83鶴王〔山形県〕	128尾瀬〔群馬県〕	173御徒町〔東京都〕	218谷中〔東京都〕
39キロロリゾート〔北海道〕	84出羽三山〔山形県〕	129伊香保〔群馬県〕	174アメ横〔東京都〕	219巣又〔東京都〕
40旭山動物園〔北海道〕	85山形市・山寺〔山形県〕	130桐生〔群馬県〕	175東京ドーム〔東京都〕	220多摩〔東京都〕
41北大植物園〔北海道〕	86米沢〔山形県〕	131太田市〔群馬県〕	176神保町〔東京都〕	221奥多摩〔東京都〕
42新千歳空港〔北海道〕	87天童〔山形県〕	132群馬(県)	177東京駅周辺〔東京都〕	222スカイツリー〔東京都〕
43函館空港〔北海道〕	88酒田〔山形県〕	133さいたま市〔埼玉県〕	178丸の内〔東京都〕	223後楽園〔東京都〕
44旭川空港〔北海道〕	89鶴岡〔山形県〕	134浦和〔埼玉県〕	179日本橋〔東京都〕	224浅草寺〔東京都〕
45釧路空港〔北海道〕	90羽黒山杉並木〔山形県〕	135大宮〔埼玉県〕	180皇居〔東京都〕	225ビッグサイト〔東京都〕

図表 2-2-36 訪問地コード 2

226ジブリ美術館〔東京都〕	271富山市〔富山県〕	316諏訪〔長野県〕	361名古屋〔愛知県〕	406二年坂〔京都府〕
227サンリオピューロランド〔東京都〕	272アルペンルート〔富山県〕	317木曽〔長野県〕	362豊田〔愛知県〕	407三年坂〔京都府〕
228都庁〔東京都〕	273立山〔富山県〕	318妻籠〔長野県〕	363犬山〔愛知県〕	408永観堂〔京都府〕
229小笠原諸島〔東京都〕	274黒部〔富山県〕	319別所〔長野県〕	364豊橋〔愛知県〕	409三十三間堂〔京都府〕
230伊豆大島〔東京都〕	275五箇山〔富山県〕	320白骨〔長野県〕	365大府〔愛知県〕	410太秦映画村〔京都府〕
231新島〔東京都〕	276富山空港〔富山県〕	321戸隠〔長野県〕	366刈谷〔愛知県〕	411銀閣寺〔京都府〕
232式根島〔東京都〕	277伏木富山港〔富山県〕	322善光寺〔長野県〕	367岡崎〔愛知県〕	412南禅寺〔京都府〕
233八丈島〔東京都〕	278富山(県)	323松本城〔長野県〕	368安城〔愛知県〕	413大徳寺〔京都府〕
234羽田空港〔東京都〕	279金沢〔石川県〕	324地獄谷野猿公苑〔長野県〕	369常滑〔愛知県〕	414龍安寺〔京都府〕
235横田空港〔東京都〕	280能登半島〔石川県〕	325長野(県)	370小牧〔愛知県〕	415広隆寺〔京都府〕
236東京(都)	281和倉〔石川県〕	326岐阜市〔岐阜県〕	371豊川〔愛知県〕	416桂離宮〔京都府〕
237横浜〔神奈川県〕	282小松〔石川県〕	327高山〔岐阜県〕	372半田〔愛知県〕	417西芳寺(苔寺)〔京都府〕
238箱根〔神奈川県〕	283白山〔石川県〕	328白川郷〔岐阜県〕	373一宮〔愛知県〕	418苔寺(西芳寺)〔京都府〕
239鎌倉〔神奈川県〕	284兼六園〔石川県〕	329奥飛騨〔岐阜県〕	374蒲郡〔愛知県〕	419平等院〔京都府〕
240川崎〔神奈川県〕	285小松空港〔石川県〕	330古川〔岐阜県〕	375知立〔愛知県〕	420京都(府)
241横須賀〔神奈川県〕	286能登空港〔石川県〕	331郡上八幡〔岐阜県〕	376伊良湖〔愛知県〕	421大阪市〔大阪府〕
242厚木〔神奈川県〕	287石川(県)	332下呂〔岐阜県〕	377明治村〔愛知県〕	422ユニバーサル・スタジオ・ジャパン〔大阪府〕
243新横浜〔神奈川県〕	288福井市〔福井県〕	333飛騨〔岐阜県〕	378熱田神宮〔愛知県〕	423堺〔大阪府〕
244みなとみらい〔神奈川県〕	289永平寺〔福井県〕	334大垣〔岐阜県〕	379徳川美術館〔愛知県〕	424難波〔大阪府〕
245江の島〔神奈川県〕	290敦賀〔福井県〕	335馬籠〔岐阜県〕	380中部空港〔愛知県〕	425箕面〔大阪府〕
246小田原〔神奈川県〕	291福井(県)	336平湯〔岐阜県〕	381名古屋港〔愛知県〕	426梅田〔大阪府〕
247藤沢〔神奈川県〕	292山梨市〔山梨県〕	337福地〔岐阜県〕	382愛知(県)	427心斎橋〔大阪府〕
248相模原〔神奈川県〕	293甲府〔山梨県〕	338新穂高〔岐阜県〕	383津〔三重県〕	428泉佐野〔大阪府〕
249海老名〔神奈川県〕	294富士五湖〔山梨県〕	339合掌村(下呂温泉)〔岐阜県〕	384伊勢志摩〔三重県〕	429りんくうタウン〔大阪府〕
250座間〔神奈川県〕	295富士山〔山梨県〕	340岐阜(県)	385伊賀上野〔三重県〕	430インテックス大阪〔大阪府〕
251平塚〔神奈川県〕	296富士急ハイランド〔山梨県〕	341静岡市〔静岡県〕	386鳥羽〔三重県〕	431関西空港〔大阪府〕
252長谷寺〔神奈川県〕	297河口湖〔山梨県〕	342伊豆半島〔静岡県〕	387四日市〔三重県〕	432大阪港〔大阪府〕
253鶴岡寺〔神奈川県〕	298山中湖〔山梨県〕	343熱海〔静岡県〕	388鈴鹿〔三重県〕	433大阪(府)
254東慶寺〔神奈川県〕	299忍野八海〔山梨県〕	344浜名湖〔静岡県〕	389桑名〔三重県〕	434神戸〔兵庫県〕
255三溪園〔神奈川県〕	300甲斐〔山梨県〕	345浜松〔静岡県〕	390松阪〔三重県〕	435淡路島〔兵庫県〕
256藤子・F・不二雄ミュージアム〔神奈川県〕	301南アルプス〔山梨県〕	346御殿場〔静岡県〕	391ナガシマスパーランド〔三重県〕	436姫路〔兵庫県〕
257ラーメン博物館〔神奈川県〕	302久保田一竹美術館〔山梨県〕	347伊東〔静岡県〕	392三重(県)	437城崎〔兵庫県〕
258パシフィコ横浜〔神奈川県〕	303山梨(県)	348清水〔静岡県〕	393大津〔滋賀県〕	438有馬温泉〔兵庫県〕
259小涌園ユネッサン〔神奈川県〕	304長野市〔長野県〕	349富士宮市〔静岡県〕	394彦根〔滋賀県〕	439芦屋〔兵庫県〕
260彫刻の森美術館〔神奈川県〕	305松本〔長野県〕	350富士市〔静岡県〕	395近江八幡〔滋賀県〕	440明石〔兵庫県〕
261横浜港〔神奈川県〕	306軽井沢〔長野県〕	351富士山〔静岡県〕	396長浜〔滋賀県〕	441西宮〔兵庫県〕
262南魚川(県)	307白馬〔長野県〕	352三島〔静岡県〕	397琵琶湖〔滋賀県〕	442六甲山〔兵庫県〕
263新潟市〔新潟県〕	308志賀高原〔長野県〕	353掛川〔静岡県〕	398ミホミュージアム〔滋賀県〕	443神戸港〔兵庫県〕
264佐渡〔新潟県〕	309上高地〔長野県〕	354下田〔静岡県〕	399滋賀(県)	444兵庫(県)
265瀬波〔新潟県〕	310蓼科〔長野県〕	355沼津〔静岡県〕	400京都市〔京都府〕	445奈良市〔奈良県〕
266苗場〔新潟県〕	311野沢〔長野県〕	356修善寺〔静岡県〕	401天橋立〔京都府〕	446吉野〔奈良県〕
267長岡〔新潟県〕	312白樺湖〔長野県〕	357三保の松原〔静岡県〕	402宇治〔京都府〕	447飛鳥〔奈良県〕
268妙高〔新潟県〕	313松代〔長野県〕	358下田海中水族館〔静岡県〕	403伏見稲荷大社〔京都府〕	448東大寺〔奈良県〕
269新潟空港〔新潟県〕	314穂高〔長野県〕	359富士山静岡空港〔静岡県〕	404金閣寺〔京都府〕	449法隆寺〔奈良県〕
270新潟(県)	315上田〔長野県〕	360静岡(県)	405清水寺〔京都府〕	450興福寺〔奈良県〕

図表 2-2-36 訪問地コード 3

451中宮寺〔奈良県〕	496広島(県)	541博多港〔福岡県〕	586高千穂〔宮崎県〕	631その他空港
452奈良(県)	497山口市〔山口県〕	542北九州空港〔福岡県〕	587青島〔宮崎県〕	632その他海港
453和歌山市〔和歌山県〕	498下関〔山口県〕	543福岡(県)	588加江田渓谷〔宮崎県〕	
454高野山〔和歌山県〕	499萩〔山口県〕	544佐賀市〔佐賀県〕	589えびの高原〔宮崎県〕	
455白浜〔和歌山県〕	500岩国〔山口県〕	545嬉野〔佐賀県〕	590宮崎空港〔宮崎県〕	
456那智勝浦〔和歌山県〕	501秋吉台〔山口県〕	546有田〔佐賀県〕	591宮崎(県)	
457熊野〔和歌山県〕	502倭山〔山口県〕	547伊万里〔佐賀県〕	592鹿児島市〔鹿児島県〕	
458田辺〔和歌山県〕	503関門港(下関)〔山口県〕	548島栖〔佐賀県〕	593指宿〔鹿児島県〕	
459湯の峰〔和歌山県〕	504山口宇部空港〔山口県〕	549唐津〔佐賀県〕	594鹿島〔鹿児島県〕	
460渡瀬〔和歌山県〕	505山口(県)	550佐賀空港〔佐賀県〕	595屋久島〔鹿児島県〕	
461川湯〔和歌山県〕	506徳島市〔徳島県〕	551佐賀(県)	596桜島〔鹿児島県〕	
462奥の院参道〔和歌山県〕	507鳴門〔徳島県〕	552長崎市〔長崎県〕	597薩摩半島〔鹿児島県〕	
463和歌山(県)	508祖谷渓〔徳島県〕	553雲仙〔長崎県〕	598大隅諸島〔鹿児島県〕	
464鳥取市〔鳥取県〕	509徳島空港〔徳島県〕	554ハウステンボス〔長崎県〕	599奄美群島〔鹿児島県〕	
465鳥取砂丘〔鳥取県〕	510徳島(県)	555佐世保〔長崎県〕	600鹿児島空港〔鹿児島県〕	
466境港〔鳥取県〕	511高松〔香川県〕	556島原〔長崎県〕	601鹿児島港〔鹿児島県〕	
467大山〔鳥取県〕	512直島〔香川県〕	557西海〔長崎県〕	602鹿児島(県)	
468米子空港〔鳥取県〕	513小豆島〔香川県〕	558平戸〔長崎県〕	603那覇〔沖縄県〕	
469境港(海港)〔鳥取県〕	514栗林公園〔香川県〕	559壱岐〔長崎県〕	604沖縄本島〔沖縄県〕	
470鳥取(県)	515高松空港〔香川県〕	560対馬〔長崎県〕	605糸満〔沖縄県〕	
471松江〔島根県〕	516香川(県)	561五島列島〔長崎県〕	606名護〔沖縄県〕	
472石見銀山〔島根県〕	517松山〔愛媛県〕	562九十九島〔長崎県〕	607恩納〔沖縄県〕	
473津和野〔島根県〕	518道後温泉〔愛媛県〕	563原爆資料館〔長崎県〕	608石垣島〔沖縄県〕	
474隠岐〔島根県〕	519今治〔愛媛県〕	564厳原港〔長崎県〕	609西表島〔沖縄県〕	
475出雲大社〔島根県〕	520宇和島〔愛媛県〕	565長崎空港〔長崎県〕	610竹富島〔沖縄県〕	
476足立美術館〔島根県〕	521松山空港〔愛媛県〕	566比田勝港〔長崎県〕	611宮古島〔沖縄県〕	
477島根(県)	522愛媛(県)	567長崎港〔長崎県〕	612本部〔沖縄県〕	
478岡山市〔岡山県〕	523高知市〔高知県〕	568長崎(県)	613北谷〔沖縄県〕	
479倉敷〔岡山県〕	524四万十〔高知県〕	569熊本市〔熊本県〕	614南城〔沖縄県〕	
480笠岡諸島〔岡山県〕	525足摺岬〔高知県〕	570阿蘇〔熊本県〕	615嘉手納〔沖縄県〕	
481後楽園〔岡山県〕	526高知空港〔高知県〕	571黒川〔熊本県〕	616首里城〔沖縄県〕	
482岡山空港〔岡山県〕	527高知港〔高知県〕	572杖立〔熊本県〕	617万座毛〔沖縄県〕	
483岡山(県)	528高知(県)	573天草〔熊本県〕	618豊見城〔沖縄県〕	
484広島市〔広島県〕	529福岡市〔福岡県〕	574熊本空港〔熊本県〕	619国際通り〔沖縄県〕	
485宮島〔広島県〕	530北九州〔福岡県〕	575熊本(県)	620美ら海水族館〔沖縄県〕	
486尾道〔広島県〕	531太宰府〔福岡県〕	576大分市〔大分県〕	621玉泉洞〔沖縄県〕	
487福山〔広島県〕	532スペースワールド〔福岡県〕	577別府〔大分県〕	622アメリカンビレッジ〔沖縄県〕	
488呉〔広島県〕	533博多〔福岡県〕	578由布院〔大分県〕	623平和祈念公園〔沖縄県〕	
489岩国〔広島県〕	534天神〔福岡県〕	579日田〔大分県〕	624川平湾〔沖縄県〕	
490鞆の浦〔広島県〕	535小倉〔福岡県〕	580九重〔大分県〕	625那覇空港〔沖縄県〕	
491厳島神社〔広島県〕	536門司〔福岡県〕	581ハーモニーランド〔大分県〕	626石垣空港〔沖縄県〕	
492平和記念公園〔広島県〕	537柳川〔福岡県〕	582ひょうたん温泉(別府)〔大分県〕	627嘉手納空港〔沖縄県〕	
493原爆ドーム〔広島県〕	538久留米〔福岡県〕	583大分空港〔大分県〕	628石垣港〔沖縄県〕	
494広島空港〔広島県〕	539キャナルシティ〔福岡県〕	584大分(県)	629那覇港〔沖縄県〕	
495広島港〔広島県〕	540福岡空港〔福岡県〕	585宮崎市〔宮崎県〕	630沖縄(県)	

<APIR 数量分析センター長　稲田 義久、主席研究員　松林 洋一、インターン生　野村 亮輔、

contact@apir.or.jp, 06-6485-7690>

・本レポートは、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当研究所の見解を示すものではありません。

・本レポートは信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、記載された内容は、今後予告なしに変更されることがあります。